

平成 2 8 年度  
教育委員会の点検・評価報告書  
(平成 27 年度事業対象)

平成 2 8 年 8 月  
葉山町教育委員会

## 目次

1	はじめに	2
2	趣旨	2
3	教育委員会の活動内容について	
(1)	教育委員会会議の開催状況	3
(2)	教育委員会会議での審議状況	3
(3)	教育委員会会議以外の活動状況	3
4	教育総合プラン 学びの基本理念に基づく取組状況	
(1)	基本理念 自立した人間をめざして	20
(2)	基本理念 心豊かに共生できる人間をめざして	32
(3)	基本理念 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って 行動できる人間をめざして	36
(4)	基本理念 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして	38
5	学識経験者による意見	41

# 1 はじめに

～美しい海とみどりに

笑顔あふれる ころろ温かな ふるさと 葉山～

葉山町教育委員会は、この町に住む一人ひとりが人間的に豊かで幸福に生きていくためには、一人ひとりの「生涯にわたって学習し続ける意欲」とそれに応える行政の「学習・教育環境の充実」が必要不可欠の両輪であると考えています。そこで、町教育委員会では、一人ひとりが学習することの意義や学ぶ姿勢について、いつも意識できること、自らの学習意欲を主体的に形成できることを、教育行政の中心的な課題として意識しながら活動を行っています。

## 2 趣旨

葉山町教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の趣旨にのっとり、平成27年度を対象として教育委員会の活動内容をとりまとめるとともに、葉山町教育総合プランの重点目標に対する主な施策の点検と自己評価を行い、「教育委員会の点検・評価報告書」(以下「報告書」という。)を作成します。

また、点検・評価にあたっては、教育に関する学識経験を有する方から頂戴したご意見も合わせて報告書を作成し、町議会に提出するとともに、町ホームページにおいて公表します。

参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 3 教育委員会の活動内容について

#### (1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回「教育委員会定例会」を開催しています。

平成27年度中は、定例会を12回、また、臨時会を3回(8月、10月、3月)開催しました。さらに、教育委員会の会議のほかに、随時、研修会等を実施しています。

#### (2) 教育委員会会議での審議状況・・・資料1

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第25条及び「葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則」第2条の規定に基づき、平成27年度は、合計35件の議案について審議を行いました。

#### (3) 教育委員会会議以外の活動状況・・・資料2

平成27年度、教育委員は、教育委員会会議以外に、町議会、学校視察、各種行事等について、合計で156回の出席及び参加をしました。

##### 【概要】

議会関係・・・・・・・・・・7回

校長会議・教頭会議への出席・・・17回

各種行事・大会・・・・・・・・・・69回

辞令交付式、葉山町民マラソン、海水浴場開き、成人式、かながわ駅伝他

学校視察・運動会等・・・・・・・・17回

その他会議等・・・・・・・・・・46回

総合教育会議・神奈川県町村教育長会総会

神奈川県市町村教育委員会連合会総会・湘三管内教育長会議他

## 資料 1

## 平成 27 年度 教育委員会審議案件等一覧

## 【平成 27 年度 教育委員会会議 審議一覧】

議案番号	件 名	提出日
1	教育施設の工事計画（案）について	4 月 15 日
2	学校医の委嘱について	4 月 15 日
3	葉山町社会教育委員及び葉山町公民館運営審議会委員の委嘱について	4 月 15 日
4	葉山町教育委員会行事の共催及び後援に関する規程の一部改正について	4 月 15 日
5	葉山町教育委員会会議規則及び葉山町教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則（案）について	5 月 20 日
6	平成 27 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 2 号））（案）について	5 月 20 日
7	葉山町青少年指導員の解職について	5 月 20 日
8	葉山町青少年指導員の委嘱について	5 月 20 日
9	葉山町スポーツ推進委員の解職について	5 月 20 日
10	葉山町スポーツ推進委員の委嘱について	5 月 20 日
11	葉山町文化財保護委員会委員の委嘱について	6 月 24 日
12	平成 28 年度使用小学校教科用図書の新採択について	7 月 15 日
13	平成 28 年度使用中学校教科用図書の新採択について	8 月 3 日
14	平成 27 年度教育委員会の点検・評価報告書（平成 26 年度対象）について	8 月 19 日
15	葉山町教育委員会の所管に係る葉山町個人情報保護条例施行規則及び葉山町教育委員会の所管に係る葉山町情報公開条例施行規則の一部を改正する規則について	9 月 30 日
16	葉山町教育委員会行事の共催及び後援に関する規程の一部を改正する規程について	9 月 30 日
17	平成 28 年度使用小学校教科用図書（一般図書）の変更採択について	9 月 30 日
18	葉山町教育委員会委員長の選挙について	11 月 18 日
19	葉山町指定文化財の指定にかかる諮問について	11 月 18 日
20	平成 27 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 4 号））（案）について	11 月 18 日

21	平成 27 年度葉山町教育予算(一般会計補正予算(第 5 号)) (案)について	1 月 27 日
22	平成 28 年度葉山町教育予算(案)について	1 月 27 日
23	葉山町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例 及び葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例 の一部を改正する条例について	1 月 27 日
24	葉山町教育振興基本計画策定委員会規則について	2 月 17 日
25	葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則 の一部改正について	2 月 17 日
26	葉山町立図書館条例施行規則の一部を改正する規則につ いて	2 月 17 日
27	葉山町立図書館条例施行規則施行規程を廃止する規程につ いて	2 月 17 日
28	葉山町社会教育委員及び葉山町公民館運営審議会委員の解 職について	2 月 17 日
29	葉山町青少年指導員の委嘱について	2 月 17 日
30	学校歯科医の解職について	3 月 18 日
31	学校歯科医の委嘱について	3 月 18 日
32	スポーツ推進委員の委嘱について	3 月 18 日
33	葉山町社会教育委員及び葉山町公民館運営審議会委員の委 嘱について	3 月 18 日
34	葉山町公立学校教職員の人事異動について	3 月 18 日
35	葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について	3 月 23 日

## 教育委員会会議での審議状況

### 4月定例会

#### 《議案第1号》教育施設の工事計画（案）について

名 称	予算額
葉山小学校ボイラー更新工事	3,456 千円
葉山小学校及び長柄小学校小荷物昇降機インバータ式制御盤等更新工事	2,214 千円
上山口小学校屋内運動場天井等非構造部材耐震化工事	3,056 千円
長柄小学校屋内運動場天井等非構造部材耐震化工事	28,814 千円
各中学校空調設備設置工事	73,332 千円
長柄桜山古墳群第1号墳遺構保存整備工事	13,695 千円
南郷上ノ山公園野球場内野舗装整備工事	2,841 千円
図書館エレベータ改修工事	18,144 千円
図書館トイレ改修工事	1,210 千円

（趣旨）規則により、予定価格 100 万円以上の工事について計画内容を審議する。

原案通り承認

#### 《議案第2号》学校医の委嘱について

（趣旨）学校医の委嘱を行う。

原案通り承認

#### 《議案第3号》葉山町社会教育委員及び葉山町公民館運営審議会委員の委嘱について

（趣旨）空席となっている社会教育委員学校長委員について委嘱する。

原案通り承認

#### 《議案第4号》葉山町教育委員会行事の共催及び後援に関する規程の一部改正について

（趣旨）葉山町教育委員会行事の共催及び後援に関する規程について必要な改正を行う。

原案通り承認

## 5月定例会

《議案第5号》葉山町教育委員会会議規則及び葉山町教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則（案）について

（趣旨）葉山町教育委員会会議規則及び葉山町教育委員会傍聴人規則について必要な改正を行う。

原案通り承認

《議案第6号》平成27年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第2号））（案）について

（歳入）

事業名	補正予算額	内容
教育総務費委託金	160,000円	いのちを大切にする心をはぐくむ教育推進研究事業委託金

（歳出）

事業名	補正予算額	内容
学校経営・研究推進事業	160,000円	いのちを大切にする心をはぐくむ教育推進研究事業
スポーツ振興事業	100,000円	スポーツ国際大会開催支援助成金

（趣旨）町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の申し出を行う。

原案通り承認

《議案第7号》葉山町青少年指導員の解職について

（趣旨）辞職の申し出に伴い解職する。

原案通り承認

《議案第8号》葉山町青少年指導員の委嘱について

（趣旨）辞職により空席となっている青少年指導員について委嘱する。

原案通り承認

《議案第9号》葉山町スポーツ推進委員の解職について

（趣旨）辞職の申し出に伴い解職する。



## 原案通り承認

《議案第 10 号》葉山町スポーツ推進委員の委嘱について  
(趣旨) 辞職により空席となっているスポーツ推進委員について委嘱する。

原案通り承認

## 6 月定例会

《議案第 11 号》葉山町文化財保護委員会委員の委嘱について  
(趣旨) 任期満了に伴う文化財保護委員の委嘱をする。

原案通り承認

### 《協議・報告事項》

- 1 第二次葉山町教育総合プラン策定について
- 2 平成 27 年度教育委員会の点検・評価報告書について
- 3 中学校給食について

## 7 月定例会

《議案第 12 号》平成 28 年度使用小学校教科用図書の採択について  
(趣旨) 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき、使用教科用図書の採択をする。

現在使用している教科書を引き続き採択することです承

### 《協議・報告事項》

- 1 平成 27 年度教育委員会の点検・評価報告書について
- 2 全国学力・学習状況調査結果について

## 8 月定例会

《議案第 14 号》平成 27 年度教育委員会の点検・評価報告書(平成 26 年度対象)  
について

(趣旨) 規則により、教育委員会の点検・評価報告書の審議をする。

原案通り承認

### 《協議・報告事項》

- ・ 第二次葉山町教育総合プランの体系(素案)について

## 9月定例会

《議案第 15 号》葉山町教育委員会の所管に係る葉山町個人情報保護条例施行規則及び葉山町教育委員会の所管に係る葉山町情報公開条例施行規則の一部を改正する規則について

(趣旨) 葉山町個人情報保護条例の一部改正等に伴い、所要の改正を行う。

原案通り承認

《議案第 16 号》葉山町教育委員会行事の共催及び後援に関する規程の一部を改正する規程について

(趣旨) 葉山町教育委員会行事の共催及び後援に関する規程について必要な改正を行う。

原案通り承認

《議案第 17 号》平成 28 年度使用小学校教科用図書(一般図書)の変更採択について

(趣旨) 平成 28 年度使用小学校教科用図書のうち一般図書を変更採択する。

原案通り承認

《協議・報告事項》

- ・ 「教育の日」制定に関する陳情について

## 10月定例会

《協議・報告事項》

- 1 中学校給食について
- 2 葉山町奨学金について

## 11月定例会

《議案第 18 号》葉山町教育委員会委員長の選挙について

(趣旨) 平成 27 年 11 月 30 日をもって任期満了する教育委員長の選任。

委員長に鈴木伸久委員、委員長職務代理者に山崎勝美委員が選任された。

《議案第 19 号》葉山町指定文化財の指定にかかる諮問について

(趣旨) 葉山町有形文化財として指定することについて、葉山町文化財保護委

員会の意見を求める。

原案通り承認

《議案第 20 号》平成 27 年度葉山町教育予算(一般会計補正予算(第 4 号))(案)  
について

(歳 出)

事業名	補正予算額	説明
中学校教育振興運営事業	1,849,000 円	教師用指導書一式

(趣旨) 町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の  
申し出を行う。

原案通り承認

《協議・報告事項》

- 1 中学校給食について
- 2 学校警察連携制度について
- 3 第 68 回葉山町成人式について

## 12 月定例会

《協議・報告事項》

- ・ 給食センター建設に関する構想(案)について

## 1 月定例会

《議案第 21 号》平成 27 年度葉山町教育予算(一般会計補正予算(第 5 号))(案)  
について

(歳 入)

名称	補正予算額	内容
学校施設環境改善交付金	5,644,000 円	小学校耐震整備事業 中学校管理事業 中学校耐震整備事業

(歳 出)

事業名	補正予算額	内容
小学校耐震整備事業	31,660,000 円	一色小学校屋内運動場天井等 非構造部材耐震化工事及び工 事監理業務委託

中学校管理事業	16,000,000 円	各中学校空調設備設置工事・ 入札差金
中学校耐震整備事業	34,060,000 円	葉山中学校屋内運動場天井等 非構造部材耐震化工事及び工 事監理業務委託

(趣旨) 町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の申し出を行う。

原案通り承認

《議案第 22 号》平成 28 年度葉山町教育予算(案)について

(趣旨) 町議会において、平成 28 年度予算に係る議決を経ることについて、意見の申し出を行う。

原案通り承認

《議案第 23 号》葉山町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例及び葉山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

(趣旨) 教育振興基本計画策定委員会を設置することに伴い、条例改正を行う。

原案通り承認

《協議・報告事項》

- 1 葉山町学校給食基本構想(案)について
- 2 第二次葉山町教育総合プラン策定について
- 3 平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果について

## 2 月定例会

《議案第 24 号》葉山町教育振興基本計画策定委員会規則について

(趣旨) 葉山町教育振興基本計画策定委員会を設置したことに伴い、規則を定める。

原案通り承認

《議案第 25 号》葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則の一部改正について

(趣旨) 葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則について必要な改正を行う。

原案通り承認

《議案第 26 号》葉山町立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について  
(趣旨) 葉山町立図書館条例施行規則について必要な改正を行う。

原案通り承認

《議案第 27 号》葉山町立図書館条例施行規則施行規程を廃止する規程について  
(趣旨) 葉山町立図書館条例施行規則施行規程について廃止する。

原案通り承認

《議案第 28 号》葉山町社会教育委員及び葉山町公民館運営審議会委員の解職について

(趣旨) 辞職の申し出に伴い解職する。

原案通り承認

《議案第 29 号》葉山町青少年指導員の委嘱について

(趣旨) 任期満了に伴う青少年指導員の委嘱をする。

原案通り承認

《協議・報告事項》

- 1 葉山町学校給食基本構想(案)について
- 2 平成 27 年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について
- 3 図書館雑誌スポンサー制度について

### 3 月定例会

《議案第 30 号》学校歯科医の解職について

(趣旨) 辞職の申し出に伴い解職する。

原案通り承認

《議案第 31 号》学校歯科医の委嘱について

(趣旨) 辞職により空席となっている学校歯科医について委嘱する。

原案通り承認

《議案第 32 号》葉山町スポーツ推進委員の委嘱について

(趣旨) 任期満了に伴いスポーツ推進委員の委嘱を行う。

原案通り承認

《議案第 33 号》葉山町社会教育委員及び葉山町公民館運営審議会委員の委嘱について

(趣旨) 辞職に伴い社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱を行う。

原案通り承認

《議案第 34 号》葉山町公立学校教職員の人事異動について

(趣旨) 規則により、人事案件を審議する。

原案通り承認

平成 27 年 第 2 回臨時会 (平成 27 年 8 月 3 日開催)

《議案第 13 号》平成 28 年度使用中学校教科用図書の採択について

(趣旨) 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき、教科用図書の採択をする。

次のとおり採択

種 目	発行者名
国 語	三省堂
書 写	光村図書出版
社会 (地理的分野)	帝国書院
社会 (歴史的分野)	東京書籍
社会 (公民的分野)	東京書籍
地 図	帝国書院
数 学	新興出版社啓林館
理 科	大日本図書
音楽 (一般)	教育芸術社
音楽 (器楽合奏)	教育芸術社
美 術	光村図書出版
保健体育	東京書籍
技術・家庭 (技術分野)	東京書籍
技術・家庭 (家庭分野)	東京書籍
英 語	学校図書

平成 27 年 第 3 回臨時会（平成 27 年 10 月 21 日開催）

《協議・報告事項》

- ・ 中学校給食について

平成 28 年 第 1 回臨時会（平成 28 年 3 月 23 日開催）

《議案第 35 号》葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について  
（趣旨）規則により、人事案件を審議する。

原案通り承認

#### 参考

\* 教育委員会定例会及び臨時会の審議状況については、葉山町ホームページの教育委員会サイトで会議録を公開しています。

資料2

教育委員会会議以外の活動状況

	各種行事・大会	そ の 他
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 辞令交付式</li> <li>・ 陸上競技講座</li> <li>・ 体育協会総会</li> <li>・ 春の全国交通安全運動街頭キャンペーン</li> <li>・ 青少年指導員委嘱式</li> <li>・ 海山に育ち親しむ子どもたち（里山管理体験）</li> <li>・ しおさい公園無料開放</li> <li>・ しおさい博物館企画展「葉山ゆかりの画家たち」「写真で見る明治・大正・昭和の葉山町」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校長会議</li> <li>・ 教頭会議</li> <li>・ 県市町村教育委員会連合会総会</li> <li>・ 県市町村教育委員会教育長会議</li> <li>・ 初任者研修会</li> <li>・ スポーツ推進委員定例会</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 陸上競技講座</li> <li>・ 海山に育ち親しむ子どもたち（稚魚放流・潮干狩り体験）</li> <li>・ しおさい博物館企画展「有毒生物の自然誌」</li> <li>・ しおさいコンサート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町臨時議会</li> <li>・ 総合教育会議</li> <li>・ 租税教育推進協議会</li> <li>・ 校長会議</li> <li>・ 湘三管内教育長会議</li> <li>・ 全国町村教育長会定期総会並びに研究大会</li> <li>・ 関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会</li> <li>・ 社会教育委員会</li> <li>・ 葉山地区PTA連絡協議会総会</li> <li>・ 町教科用図書採択検討委員会</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動会（上山口小学校）</li> <li>・ 運動会（長柄小学校）</li> <li>・ 体育祭（南郷中学校）</li> <li>・ 学校視察（葉山小学校）</li> <li>・ 葉山自然観察隊</li> <li>・ しおさい博物館企画展「有毒生物の自然誌」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町議会</li> <li>・ 校長会議</li> <li>・ 就学支援委員会</li> <li>・ 青少年問題協議会</li> <li>・ スポーツ推進委員横三地区情報交換会</li> </ul>



7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海水浴場開き</li> <li>・学校視察（葉山中学校）</li> <li>・社会を明るくする運動</li> <li>・草津町親善水泳教室</li> <li>・海の学校（波乗り体験）</li> <li>・しおさい博物館企画展「有毒生物の自然誌」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長会議</li> <li>・教頭会議</li> <li>・県市町村教育長会連合会幹事会</li> <li>・葉山町PTA研修会</li> <li>・葉山被害者支援ネットワーク総会</li> <li>・町教科用図書採択検討委員会</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海の学校（ヨット体験講座）</li> <li>・学校プール開放</li> <li>・ジュニアキャンプ</li> <li>・しおさい博物館企画展「有毒生物の自然誌」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湘三管内教育長会議</li> <li>・町村教育長会Aブロック研究会議</li> <li>・葉山町中学生議会</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育祭（葉山中学校）</li> <li>・学びづくり公開授業（長柄小学校）</li> <li>・葉山町青少年創意くふう展</li> <li>・秋の全国交通安全運動街頭キャンペーン</li> <li>・しおさい博物館企画展「有毒生物の自然誌」</li> <li>・考古パネル展示</li> <li>・さわやか体験学習</li> <li>・サイエンスカフェ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町議会</li> <li>・校長会議</li> <li>・教頭会議</li> <li>・青少年問題協議会</li> <li>・社会教育委員会</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会（一色小学校）</li> <li>・運動会（葉山小学校）</li> <li>・学校視察（長柄小学校）</li> <li>・文化財講座</li> <li>・逗葉地区青少年音楽祭</li> <li>・南郷中学校吹奏楽演奏会</li> <li>・楽しく走ろう！ジョギング in はやま</li> <li>・しおさい博物館企画展「ナマコの骨」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長会議</li> <li>・神奈川県町村教育長会秋の総会並びに秋季研究会</li> <li>・県市町村教育委員会連合会研修会</li> <li>・臨時 県市町村教育委員会教育長会議</li> <li>・三浦半島地区教育長会議</li> <li>・総合教育会議</li> <li>・就学支援委員会</li> <li>・社会教育委員会</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合防災訓練</li> <li>・学びづくり公開授業（葉山小学校）</li> <li>・学びづくり公開授業（長柄小学校）</li> <li>・学びづくり公開授業（葉山中学校）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町臨時議会</li> <li>・校長会議</li> <li>・県市町村教育長会連合会幹事会及び総会</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びづくり公開授業( 上山口小学校)</li> <li>・学校視察( 上山口小学校)</li> <li>・戦没者慰霊祭</li> <li>・文化財講座</li> <li>・しおさい公園無料開放</li> <li>・葉山町文化祭</li> <li>・しおさい博物館企画展「葉山ゆかりの画家たち」『相模湾の生物誌 - 日本生物学のはじまりー』</li> <li>・スポーツオープンデー</li> <li>・はやま南郷ヒルクライムスプリント</li> <li>・町民体力測定</li> <li>・ゴルフ講座</li> <li>・ジュニアリーダー養成講座( 全 6 回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県公立小学校横須賀地区小学校管理運営研究会</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権を考える集い</li> <li>・年末の交通事故防止運動街頭キャンペーン</li> <li>・学校視察( 南郷中学校)</li> <li>・学校警察連携制度調印式</li> <li>・しおさい博物館企画展「相模湾の生物誌 - 日本生物学のはじまりー」</li> <li>・卓球講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町議会</li> <li>・校長会議</li> <li>・文化財保護委員会</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出初式</li> <li>・成人式</li> <li>・あいさつ運動</li> <li>・学校視察( 一色小学校)</li> <li>・町小中学校作品展</li> <li>・葉山町民駅伝</li> <li>・三浦半島駅伝</li> <li>・町民スキー学校</li> <li>・しおさい博物館企画展「第3回葉山一色海岸アート展」『海藻 - 海を彩るいきものの不思議』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長会議</li> <li>・教頭会議</li> <li>・湘三管内教育長会議及び校長研究会</li> <li>・就学支援委員会</li> <li>・県町村教育長会研究会</li> <li>・市町村教育委員研究協議会</li> <li>・社会教育委員会</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉山町民大学</li> <li>・あいさつ運動</li> <li>・かながわ駅伝</li> <li>・しおさい博物館企画展「海藻 - 海</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町議会</li> <li>・校長会議</li> <li>・教頭会議</li> <li>・県市町村教育委員会教育長会議</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>を彩るいきものの不思議 』</li> <li>・家庭教育支援講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護委員会</li> </ul>
3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校卒業式</li> <li>・中学校卒業式</li> <li>・辞令伝達式、辞令交付式</li> <li>・公民館教室「ジュニアハンドベル」</li> <li>ロビーコンサート</li> <li>・しおさい博物館企画展「海藻 - 海</li> <li>を彩るいきものの不思議 』</li> <li>・サイエンスカフェ</li> <li>・ヨット乗船体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長会議</li> <li>・教頭会議</li> <li>・社会教育委員会</li> <li>・青少年問題協議会</li> <li>・青少年指導員定例会</li> <li>・文化財保護委員会</li> <li>・スポーツ推進委員定例会</li> <li>・古墳整備検討会</li> </ul>

## 4 「教育総合プラン 学びの基本理念」に基づく取組状況

「葉山町教育総合プラン」では、教育施策の基本方針について、次のように述べています。

学習は、個人が自発的意思に基づいてより良く生きるためになされるものです。それにより一人ひとりの身体的・知的・情緒的・社会的行動が進歩し、調和のとれた人格が形成されます。また、教育は、一定の社会において個人に他から働きかけ、社会生活に必要な能力や資質を発達させる営みです。つまり「学習は自分づくり、教育は人づくり」といえます。

そこで、普遍的なこと、及び、現在の社会背景から生じている課題やこれから特に求められているであろうことを考慮しながら、学びを通してめざす人間像についての基本的な考え方を『基本理念』としました。そして、それを実現するために重点的に取り組むべき教育のあり方を『教育の重点』とし、教育施策の基本方針としています。

本報告書においては、教育総合プランの4つの基本理念に則して点検・評価を行い、主な活動状況、教育委員会での評価についてまとめました。

また、平成27年度は、以下の5項目を重要事項として取り組みました。

### 【重要事項】

- ・「中学校給食」(P20 - 21、P27 参照)
- ・「第二次葉山町教育総合プラン(素案)の策定」(P21、P28 参照)
- ・「総合教育会議」(P21、P28 参照)
- ・「葉山町学びづくり研究推進事業」(P21、P28 参照)
- ・「情報教育」(P38、P39 参照)

## ( 1 ) 基本理念 自立した人間をめざして

重点： 家庭教育を充実しよう	特別支援教育を大切にしよう
幼児教育を充実しよう	健康生活を推進しよう
学校教育を充実しよう	学びの場を充実しよう

### 【平成 27 年度の主な取り組み】

#### <教育総務課>

##### 新規 耐震整備事業

平成 27 年度から児童・生徒が使用している構造体の耐震化率は、100%になりました。

また、非構造体の学校施設につきましては、上山口小学校・長柄小学校屋内運動場天井等非構造部材耐震化工事を実施しました。

\* 上山口小学校旧校舎については、文部科学省が実施する「公立学校施設の耐震改修状況調査」において、毎年未耐震として報告していましたが、平成 27 年度の同調査で「児童生徒・教職員等が日常的に使用する建物」を調査の対象建物とするよう留意点が示されましたので、平成 27 年度から、耐震整備の対象から除外し、構造体の耐震化率は 100% になりました。

##### 新規 中学校空調設備設置事業

各中学校 2 校の普通教室以外の特別教室（15 教室）及びその他の教室（14 教室）に空調設備を 44 台（29 教室）設置する工事を実施しました。

##### 小中学校管理事業

各小中学校 6 校のグラウンドの地質調査及び改修に係る設計業務を執行しました。また、長柄小学校敷地内の急傾斜地に安全対策工事を実施するための設計業務を執行しました。

##### 中学校給食

平成 26 年度より、教育委員会事務局を含め庁内関係部課長による「葉山町立中学校給食推進委員会」が設置され、検討を重ねてきた結果、中学校給食のみでなく町の学校給食全体のあり方を考え、中学校において完全給食を実施するこの機会に、小学校給食施設の老朽化対策を一体的に進めることが「食の安全」と「効率性」の観点から適当であるとの見解が示され、「葉山町立中学校給食推進委員会報告書」が 11 月に提出されました。

この報告書を受けて、教育委員会では、葉山町学校給食基本構想（案）を策定することに着手し、また、給食のセンター化に向けた説明が不足してい

るとの指摘に対して、学校給食会総会での決議に基づき、保護者・教職員及び上山口周辺地域住民向けの説明会（全 13 回）を実施しました。

#### **新規 第二次葉山町教育総合プラン（素案）の策定**

第二次葉山町教育総合プランは、教育行政の指針として、また教育振興に関する施策を総合的に推進するための行動計画として策定するもので、平成 25 年 6 月に改定された国の教育振興基本計画を参酌して定めていくものです。

今年度は、葉山町教育総合プラン検討会及び葉山町教育総合プラン検討会作業部会で素案づくりのための検討を行ないました。

#### **新規 総合教育会議**

平成 27 年 4 月 1 日施行された、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律により、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化、及び地方に対する国の関与の見直しが図られました。総合教育会議は、すべての地方公共団体に設置が義務づけられ、会議は地方公共団体の長が招集し、教育に関する「大綱」を首長が策定することになります。今年度は、5 月と 10 月に会議を 2 回開催し、法改正及び設置要綱の主旨説明、学校給食、奨学金、教育に関する「大綱」策定などについて協議がおこなわれました。

### <学校教育課>

#### **新規 葉山町学びづくり研究推進事業**

当町において、平成 25 年度～26 年度の 2 年間「かながわ学びづくり研究推進委託事業」を受託し、小・中学校が一体となって確かな学力の向上に向けた取り組みを推進しました。さらに、平成 27 年度は、町事業として「葉山町学びづくり研究推進事業」を実施し、児童生徒の「確かな学力」の向上に資するため、また、小・中学校の校種間連携をさらに推進するため、取り組みの充実を図りました。

#### **町費教員の配置**

各小・中学校 1 人、計 6 人を配置したことに加え、中 1 ギャップの未然防止や解消、及び教育課程における小・中学校の連携の推進を目的とした町費教員を 2 人配置し、指導体制の充実を図りました。

（合計人数：8 人、主な教科：算数・数学、英語、理科）

\* 町費教員

安定した情緒のもとで確かな学力の向上を図るため、町費で任用する教員。専門的な教科の学習指導や、少人数指導、チーム・ティーチング（TT：複数教員による指導）など、学習の目的や習熟の程度に応じた指導に当たっている。

\* 中1ギャップ

中学校への進学にあたり、学校生活や友人関係の急変、心身の急激な発達により、様々な面で不安定になること。文部科学省の調査では、不登校、暴力、いじめが小学生に比べ中学1年生から急激に増えている。

教育相談体制

教育相談体制を充実するため、各小・中学校にスクールカウンセラー、心の教室相談員（中学校のみ）を配置するとともに、教育研究所に教育相談員を配置しました。

相談件数（件）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
教育研究所	971	1,087	897	900
スクールカウンセラー	435	467	414	322
心の教室	1,237	1,027	746	238

不登校（人）・いじめ（件）

	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
不登校	9	12	9	10	12	9	5	14
いじめ	14	12	6	10	15	2	9	2

10 特別支援教育

各小・中学校においては、特別な配慮を必要とする児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の充実を図るため、校内の支援体制の整備や、適正な就学支援プロセスの保持、教職員の研修等を進めてきました。

また、葉山町発達支援システムにより教育と福祉の連携が密になり、合同で開催する個別ケース会議や連絡会等の取り組みが、学校におけるより適切な指導や支援に生かされています。

\* 葉山町発達支援システム

発達障害児者及び特別な支援を必要とする児者の早期発見、早期の発達支援を図るとともに、保健・福祉・医療・教育等が連携して一貫した相談・支援を行うためのシステム。平成 22 年 4 月設置。

11 人権教育

児童・生徒がそれぞれの発達の段階に応じて、人権に関する基本的な理解を深め、人権尊重の意識を高めることにより、人権の大切さを共感的に受け止めるようになることは、きわめて重要です。こうした人権感覚を育む教育をすべての教育活動を通じて行うとともに、児童・生徒の人権に十分配慮し、一人ひとりを大切にすることを推進しています。そのために、人権教育担当者会を開催し、各学校の取り組みについて情報の共有化を図りました。また、一色小学校・葉山小学校の教職員及び各学校の人権教育担当者を対象に 2 回の人権教育研修会を実施しました。

12 防災教育

葉山町学校防災計画策定後、各学校が学校防災マニュアルの更なる見直しを行うとともに、これに基づく地震・火災を想定した訓練、予告なし訓練、引渡し訓練などを年 4 ~ 5 回程度実施しています。更に葉山小、一色小では津波を想定した高台等への避難訓練を実施するなど防災教育に力を入れています。

<生涯学習課・しおさい博物館>

13 「葉山町民大学」の開催(全 5 回)

生涯学習の一層の充実を目指し、町民の高度な学習要求に応えるために関東学院大学と提携し、町民大学を開催しました。

実施日：2 ~ 3 月 参加者：57 人 会場：保育園・教育総合センター  
テーマ：「互惠(レシプロシティ)と国際交流を考える」(パート 3)

主な講座内容

「国富論にみるレシプロシティ」「日本の近代化に貢献したヴェルニー」

14 P T A 研修会の開催

P T A 活動の推進にあたり、活動に必要な知識や技術を習得するとともに、役員としてのあり方や、P T A の今日的課題を正しく認識することを通して、P T A 活動の充実を図れるよう、研修会を開催しました。

実施日：7 月 8 日 参加者：195 人 会場：福祉文化会館ほか  
学級委員会分科会テーマ：携帯端末やスマホの落とし穴



講師：下位 勇一氏 葉山町 PTA 連絡協議会会長

広報委員会分科会テーマ：広報の作り方

講師：政策課職員

校外委員会分科会テーマ：A E Dの使い方及び救命救急について

講師：消防署職員

15 公民館教室の開催

町民の学習のきっかけを作り、相互の親交を深めることを目的に、趣味・技能・教養等の各種教室及び講座を開催しました。

主な教室

キッチンはやま

ジュニアハンドベル教室

パパと遊ぼう手遊び歌遊び 他 11 教室

実施日：4月～3月 全教室合計参加者：377人 会場：図書館・一色小  
新館・保健センターほか3箇所

16 学校施設等開放による活動拠点の提供

学校施設や図書館付属施設を、町民の団体活動の拠点として提供しました。

学校施設等開放利用団体登録数 73 団体

図書館付属施設利用団体登録数 112 団体

17 学校体育施設開放による活動拠点の提供

学校教育上及び公益上支障のない範囲において小中学校体育施設を開放し、町民に、スポーツ・レクリエーションならびに生涯スポーツ活動を普及奨励しました。

学校体育施設開放利用団体登録数 71 団体

18 学校プール開放の実施

小学校のプールを開放して、児童の健康増進並びに泳力の向上を図るとともに、夏休みの親子・地域のコミュニケーションの場としました。

実施日：8/1～19(14日間) 利用者：1,039人 会場：葉山小・長柄小・  
上山口小

19 少年少女スポーツ体験講座の開催

小・中学生を対象に、各種スポーツ体験講座を実施し、町内の児童・生徒の体力向上と、スポーツの振興を図りました。

陸上競技講座 実施日：4月～5月(5回) 参加者：小学3～6年生90人

会場：葉山小・一色小校庭  
ゴルフ講座 実施日：11月21日 参加者：小学1～6年生とその保護者36人  
会場：葉山小体育館・葉山小校庭  
卓球講座 実施日：12月12日 参加者：小学1～6年生25人 会場：葉山小体育館

20 楽しく走ろう！ジョギング in はやまの開催

ジョギングの楽しさと身体に優しいジョギングの方法を知り、それを健全な身体づくりと体力向上に活かすことを目指して、開催しました。

実施日：10月4日 参加者：小学生以上28人 会場：葉山小体育館・葉山小校庭等

21 新規 町民体力測定

スポーツを始めるきっかけづくり、スポーツ活動継続促進を目的として「町民体力測定」を実施し、今後の健康づくりや体力の向上を図りました。

実施日：11月29日 参加者：6～79歳119人 会場：一色小体育館・一色小校庭

22 しおさい公園・博物館の充実

来園・来館される方々により親しまれ、喜んでいただける施設づくりを目指した取り組みの結果、入場者は約2万2千人を超えました。

主な内容

所蔵美術展等各種展示会の開催

ホームページ「しおさい公園だより」を用いた情報発信の充実

SNS（フェイスブック）を用いた情報発信の充実

23 しおさい博物館展示解説及び学習支援

町内小中学校児童・生徒を対象に、展示解説・自由研究の相談を行いました。

実施日：7月15日・9月24日 参加者：116人 会場：しおさい博物館

24 しおさい博物館学芸員等実習

学芸員資格取得希望者や高校生・中学生・教職員に各種実習を行いました。

学芸員実習

実施日：9月2日～9日 参加者：4人 会場：しおさい博物館

高校生インターンシップ

実施日：7月29日～30日・8月19日～20日 参加者：6人 会場：

しおさい博物館

中学生職場体験

実施日：11月19日～20日・11月26日～27日 参加者：7人 会場：

しおさい博物館

教職員5年・10年研修

実施日：8月5日～7日・8月26日～27日 参加者：4人 会場：し

おさい博物館

- 25 神奈川県立近代美術館葉山館・山口蓬春記念館との合同見学会

しおさい博物館・神奈川県立近代美術館葉山館・山口蓬春記念館の3館合同で見学会を行いました。

実施日：9月18日・2月26日 参加者：72人 会場：しおさい博物館

- 26 サイエンスカフェの開催

しおさい公園内施設において、「有毒生物の自然誌 海藻から見た進化の不思議」をテーマに、カフェの雰囲気でお茶を飲みながら参加者と館員が話をする「サイエンスカフェ」を開催しました。

実施日：9月・3月 参加者：49人 会場：しおさい公園内

#### <図書館>

- 27 ブックスタート

子ども育成課が実施する乳児（4か月児）健康診査時に保健センターで乳児と保護者に絵本の読み聞かせや図書館の紹介を行ない、本と親しむ環境づくりを通して親子のふれあいを深める取り組みとしました。

実施日：毎月第1木曜日（12回） 参加者：212組 会場：保健センター

- 28 おはなし会

幼少時から読書に興味を持ってもらえるよう、おはなしコーナーで絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊び等を行ないました。

実施日：毎週水曜日（45回） 参加者：564人 会場：図書館

- 29 社会見学・職場体験学習・社会体験研修

社会見学のしおりを作成し、小学校3年生に施設の紹介をしました。

実施日：10月1日 参加者：一色小学校3クラス88人 実施日：12月1日 参加者：葉山小学校3クラス92人 会場：図書館

中学校2年生の職場体験学習を受け入れ、日常業務の実習をしました。

実施日：11月19日～20日 参加者：葉山中学校4人 実施日：11月26

日～27日 参加者：南郷中学校4人 実施日：1月21日～22日 参加者：  
沼間中学校2人 会場：図書館

教員5年社会体験研修で、夏休みに実習をしました。

実施日：7月29日～31日 参加者：葉山小学校1人 実施日：8月19  
日～21日 参加者：一色小学校1人 会場：図書館

### 30 資料紹介のパンフレット作成

「図書館おすすめ」のパンフレットを作成しました。

4月「ひとりでよんでみよう」(1年生向)

7月「図書館からおすすめの本」(小学生向)

10月「図書館員からのおすすめ本」(一般向)

### 31 新規 読書の記録

読んだ本の題名や日付を記録できるようにノートを作りました。7月から配  
付し、大人用73人、子ども用123人(よく読みました賞 子ども8人)にな  
りました。

### 【評価】

平成27年度の耐震整備事業としての、構造体の工事の実施はありませんで  
した。現在、児童・生徒が使用している構造体の耐震化率は、100%です。

また、非構造体の学校施設については、上山口小学校・長柄小学校屋内運  
動場天井等非構造部材耐震化工事を実施しました。

今後、残り4校についても順次、耐震化工事を実施していきます。

中学校空調設備については、各中学校2校の普通教室以外の特別教室等に  
空調設備を設置しました。

また、平成25・26年度の2ヵ年で小中学校普通教室等空調設備に係る設置  
工事を実施し竣工しました。

教育環境の充実のため、学校の各種設備については、今後も安全安心を第  
一に点検、整備、修繕を実施していきます。

葉山町立中学校給食推進委員会から11月に報告書が提出され、保護者・教  
職員及び上山口周辺地域住民向け説明会を13回開催しました。たくさんの  
いただいたご意見を参考にして、今後、葉山町学校給食基本構想(案)策定に  
向けて検討を進めていきます。

第二次葉山町教育総合プラン策定のため、葉山町教育総合プラン検討会等で検討を進めました。今後、条例で定められた附属機関の「葉山町教育振興基本計画策定委員会」に諮問をおこない、平成28年度中に答申をいただき、策定に向け順次進めていきます。

総合教育会議は、町長が招集し、5月と10月に2回開催されました。第1回目の会議では、法律の一部改正及び設置要綱の主旨説明、今後の会議の進め方などが協議されました。第2回目の会議では、学校給食、奨学金、教育総合プランについて協議し、現在策定中の第二次葉山町教育総合プランを法が定める教育振興基本計画として位置付け、この計画を基にして、町長が定める教育に関する「大綱」を策定していくという方向性を確認しました。

今後、年2回程度開催していくこととし、町長と教育委員会が協議することにより、教育施策の方向性を両者が共有し、一致してその執行に当たれるように進めていきます。

学校教育の充実については、児童生徒の「確かな学力」向上に資するため、また、小中学校9年間を見すえた教育について研究を進めるため「葉山町学びづくり研究推進事業」を積極的に推進しました。3年間を1サイクルとする本事業の1年目は、小学校2校を拠点校に指定し、その公開授業等には小中学校の教員が校種に関係なく、積極的に参加し、研究協議を行いました。これにより、小中学校9年間の連携を意識した授業づくりについて、各校の取り組みや教員の意識向上が図られました。加えて、研究の成果が日常の授業に活かされました。今後は、各校が小中9年間を見すえた葉山の子どもの像を共有し、児童・生徒の「確かな学力」の向上を旨とした取り組みをさらに推進していきます。

- 町費教員の配置については、児童生徒が安定した情緒のもとで「確かな学力」の向上に取り組めるよう、きめ細やかな学習支援を意図して推進しました。また、中1ギャップの未然防止や解消、小・中学校の学習の滑らかな接続を目的として、得意・不得意の意識の差が大きくなる算数・数学の教科に特化した小中連携の町費教員の配置を継続して実施しました。配置の方法としては、前年度後期は小学校に勤務し、翌年度前期は6年生が進学した先の中学校に勤務するという形態で実施し、小学校と中学校の授業の接続に関する研究を進めました。その結果、児童生徒が安心して授業に臨むことができ、特に中学入学後の4月～6月期は、子ども達の学習に対する不安等が高まる傾向にある中、この配置事業を有効に活用することができました。

今後も、学校教育をより一層充実させ、小学校と中学校の教育課程におけ

る連携・接続を進めるため、今日的な課題を踏まえ、町費教員の人員確保や時間数、支援対象教科等の増加など、更なる取り組みの充実と条件整備に努める必要があります。

様々なニーズに対応した教育相談の充実が図られるよう、スクールカウンセラーや心の教室相談員、教育研究所の教育相談員による、きめ細かな教育相談体制を維持しています。これにより、本年度は、小学校における不登校児童が減少しましたが、中学校については、若干、不登校生徒が増える傾向が見られました。引き続き、教育相談体制の充実を図るとともに、小中学校のさらなる連携強化を図ります。いじめについては、早期発見、早期対応がいじめ解消の鍵となることから、いつでもどこでも起こりうるという認識に立ち、程度の大小にかかわらず、どんな小さないじめも見逃さないよう学校を指導しているところです。

今後も子どもの心の安全・安心のため、教職員と一体となり、教育相談体制を維持・推進していきます。

特別支援教育については、葉山町発達支援システムによる教育と福祉の連携のもと、改訂した相談支援ファイルを支援のツールとして周知するとともに、教育と福祉が連携して、日々の情報交換を踏まえながら、ケース会議及び連絡会を開くなど、児童生徒一人ひとりのニーズにより対応した支援を進めています。

インクルーシブ教育の理念に基づき、障害児が交流学級で可能な限り積極的に授業に参加することができるよう、各小・中学校に介助員を派遣するなど、きめ細かな教育支援を行いました。また、年2回の特別支援学級担当者会議では、合理的配慮の観点を踏まえて児童・生徒一人ひとりの情報交換を行ない、共通理解を深めながら小・中学校の連携を図ることができました。今後は、教職員の研修等を通じて指導計画の実効性を高めていくことと、幼・保・小の積極的な連携を含め適正な就学支援プロセスを保持することが重要だと考えています。

\* インクルーシブ教育システムとは

人間の多様性の尊重等を強化し、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み。

(参考：障害者の権利に関する条約第24条)

\* 合理的配慮とは

障害者が他の者との平等を基礎として全ての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないものをいう。

(参考：障害者の権利に関する条約第2条)

人権教育担当者会では、町における人権教育の課題について考え、様々な人権問題の中でも、特に社会問題となっている子どもの人権侵害を中心に協議を深めました。また、人権教育研修会では「あらためて人権教育について考える」「学校のいじめ 初期対応について」をテーマに2回の参加体験型研修を実施し、教職員の人権感覚を磨く機会としました。今後も、担当者会及び研修会の内容を充実させていく必要があります。

3.11 東日本大震災を受け、葉山町教育委員会が策定した学校防災計画を基に、各小・中学校では、それぞれの学校防災マニュアルに基づく、避難訓練や防災教育を実施しました。具体的には、津波を想定して、高台への避難を取り入れた訓練を実施するなど、従来の予想を超えた災害に対応できるよう取り組んでおります。訓練等を通して課題を明らかにし、よりよい避難訓練・防災教育につなげていくことが重要です。また、県内でも子どもが犯罪にまきこまれる事案が発生していることから、併せて防犯教育にも取り組んでいく必要があります。

生涯学習については、毎回多くの受講希望者があり、人気の高い「葉山町民大学」を開催するなど、さまざまな取り組みを実施して、学びの場の充実を図りました。町民大学については、今後、受講生のアンケート結果や要望を踏まえ、テーマ設定を工夫するなど、今まで以上の充実を図る必要があります。また、しおさい公園・博物館は、各種展示会を開催するほか、園内全ての管理も向上しており、その効果が表れてさらなる入場者増が期待されます。

スポーツ関係事業では、実施した講座の定員に対する参加率は約90%と高く、スポーツ活動を始めるきっかけ作りの充実を図ることができました。また、新規に実施した町民体力測定においては、自身の体力を知る機会を提供することができました。近年のスポーツは、「学校スポーツ」、「生涯スポーツ」、「競技スポーツ」にとどまらず、地域振興や健康増進など幅広い活用が求められ、さらに2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が控えており、今後はこのような機運の高まりを受けた取り組みが必要とされます。

- インターネット等の普及が目覚ましい昨今、「実物」を目の当たりにし、館員から指導や研修を受けることのできる博物館は、町内でも指折りの視聴覚教育施設として、児童・生徒の学校教育課程のみならず成人の生涯学習の場としても、更に活用の度合いを広げていくべきだと思われます。また、地域博物館の特色である地元ならではの多くの資料を取り扱うことにより、郷土教育の一端を担う基盤的存在としての機能も大いに期待されます。

博物館などの諸施設が今後もより一層充実し、町民一人ひとりの「学びの場」として大いに活用されることが望まれます。

- 図書館では、乳幼児から高齢者まで、あらゆる年齢層の読書活動を推進するため、資料紹介を工夫するなど、さまざまな取り組みを行なっています。今後、施設改修を計画的に行ない、生涯学習の場・情報集積地としての役割を担うことが必要です。



## (2) 基本理念 心豊かに共生できる人間をめざして

重点： 社会性を育てよう  
学校間・校種間交流を促進しよう  
地域・世代間交流を促進しよう  
国際的な視野にたつ人間を育てよう

### 【平成 27 年度の主な取り組み】

#### <学校教育課>

##### 小・中学校の連携

小学生が安心して中学校へ進学できるよう、各中学校の生徒会が主体となって、小学校 6 年生の中学校訪問を受け入れ、学校生活や部活動の体験見学会を行ないました。

また、教育研究所では、町費教員・指導主事が参加する小中連携に関する連絡会を 6 回開催し、今後のよりよい連携に向け、課題を整理し研究を進めました。

##### 「わかる！算数教室」の開催

葉山町教育研究所が主体となり、学年末休業日を利用して、小学校 6 年生を対象に「わかる！算数教室」を 2 コース 4 日間開催し、延べ 20 人が出席しました。教材は、小中連携に関する連絡会で出された成果と課題等を踏まえ、中学校でつまずきそうな範囲を想定し、例題・問題を作成しました。

##### 小学校外国語活動・中学校英語教育

小学校外国語活動でのよりよい授業づくりに向け、教育研究所主催の研修講座を実施するとともに、町小学校外国語活動研究会では、中学校英語教員と協同で作成した共通教材を使った授業研究を行いました。併せて次期学習指導要領の小学校外国語教育の導入を踏まえ、文部科学省が実施した小学校英語教育推進リーダー中央研修に派遣された教諭からの還流報告を受け研修を深めました。また、充実した活動や授業が行えるよう、各小・中学校へ A L T を派遣しています。

\* A L T (Assistant Language Teacher): ネイティブスピーカーの外国語指導助手

##### 地域連携による学習の推進

地域との協同・連携を進め、葉山町の自然や環境、歴史や文化、社会活動などに関わる体験学習を推進しました。

## <生涯学習課>

### ジュニアキャンプ

夏休み中に国立中央青少年の家(御殿場市)でジュニアキャンプを開催し、他の学校の同年代の仲間や異世代の青少年指導員やジュニアリーダーとのふれあいを通して、子どもたちが集団生活における協力やルールを守ることの大切さを学ぶなど、自主性・協調性を育みました。

実施日：8月20日～21日(1泊2日) 参加者：小学5・6年生50人 会場：静岡県御殿場市 国立中央青少年交流の家

### 各種青少年体験事業

各種青少年体験事業では、子どもたちに、自然とふれあいながら様々な体験活動をする機会を作りました。「葉山自然観察隊」では、芝崎ナチュラルリザーブにおいて磯の生き物に触れたり、「さわやか体験学習」では、青少年指導員の指導により、ゴムはんこを作りました。

#### 葉山自然観察隊

実施日：6月7日、13日 参加者：小学3・4年生24人 会場：しおさい博物館、芝崎ナチュラルリザーブ

#### さわやか体験学習

実施日：9月26日 参加者：小学4～6年生36人 会場：保育園・教育総合センター

#### 海の学校(ヨット体験)

実施日：8月5日 参加者：小学5・6年生39人 会場：葉山公園・大浜海岸

#### 海山に育ち親しむ子どもたち(里山管理体験)

実施日：4月18日 参加者：小学4～6年生65人 会場：湘南国際村緑地

#### 海山に育ち親しむ子どもたち(稚魚放流・潮干狩り体験)

実施日：5月23日 参加者：未就学児童3～5歳118人 小学1～3年生182人 会場：森戸海岸

### 逗葉地区青少年音楽祭

逗子文化プラザにおいて、逗葉地区青少年音楽祭を開催し、葉山中学校、南郷中学校、逗子中学校、久木中学校、沼間中学校、逗葉高校、逗子高校の各吹奏楽部が参加し、交流を深めました。音楽活動の振興と青少年の健全育成を図りました。

実施日：10月25日 参加者：7団体(約200人) 会場：逗子文化プラザ

### ジュニアリーダー活動

青少年が自ら進んで社会へ参加するための場所作りとして、ジュニアリーダー養成講座を開講し、リーダーとして必要な基礎知識・技術を習得し、子ども会等の地域活動にそれらを反映できるように指導・育成を行いました。

#### ジュニアリーダー養成講座

実施日：11月～3月 参加者：小学5・6年生・中学1年生24人 会場：  
保育園・教育総合センターほか

### <図書館>

#### 展示及び特集コーナーの資料紹介

毎月テーマを決めて、エントランスコーナーでの展示や貸出室本棚での特集資料紹介を実施しました。

テーマ：4月 町所蔵美術展

5月 昨年よく読まれた本（26年）

6月 きれいになりたい

7月 理系 First Step おもしろい図鑑

8月 かいのどうぶつえん

9月 可愛い女の子の魔法の本、かっこいい男の子の冒険の本

10月 身体と心を整える鍛える（心の問題）

11月 町所蔵美術展

12月 人権週間

1月 貴重資料紹介

2月 大好き！キャラクター 昨年よく読まれた本（27年）

3月 健康と食育

### 【評価】

○ 小中学校の連携では、小学校6年生が中学校を訪れ、中学校の生徒会が中心となって準備した、学校紹介や部活動紹介を受けることで、中学校入学への希望を膨らませるという取り組みが行なわれました。今後もこの取り組みを継続・工夫していくことが望まれます。

また、小中学校9年間を見通した教育活動をさらに推進するため、教育研究所が中心となって、小中連携の町費教員と協力し、小学校における児童の取組や、中学校における学習面の不安等を把握することで、つながりのある教育課程の研究を進めることができました。

教育研究所が主体となり、学年末休業を活用して、小学校6年生を対象とした「わかる！算数教室」を開催しました。参加した児童や保護者からは、

「算数が苦手だったのでこの学習はためになった」、「苦手意識を取り除くことができた」、「計算問題など、自信がついた」等の感想が寄せられました。今後は、さらに子ども達の実態把握に努め、教材や授業方法に改善を加えながら、充実した教室となるよう努めていくことが大切です。

小学校外国語活動・中学校英語教育の充実に向けての取り組みでは、教育研究所主催の夏季研修講座で、先進的な研究・実践をしている大学付属小学校の校長を講師に、「先生が楽しくなる英語活動の実践方法」というテーマで教員を対象として研修を行い、大きな示唆を得ることができました。

また、小学校外国語活動研究会では、文部科学省主催の中央研修会での情報を共有したり、近隣他市の状況把握や中学校英語教員と連携した授業研究を行ったりする中で授業力向上を図ってきました。併せてALT派遣の成果もあり、子どもたちが積極的にコミュニケーションを図ろうとするなど、授業が充実してきました。今後も研修の充実、中学校英語教員との連携による授業力の向上、教材開発を通して子どもたちに英語のコミュニケーション能力を身につけさせていきたいと考えております。

- 南郷中学校では、「葉山のよい暮らしを発見する活動」として、FGC (Find「発見する」、Good Life「よい暮らし」、Community「地域」) 活動の定着と充実が図られています。また、葉山中学校でも「ふれあい講座」を実施し、葉山まちづくり協会やボランティアセンター等の協力を得ながら、地域との協同・連携を進めました。小学校では地域人材、地域環境・施設等の積極的な活用が図られています。このように、葉山町の自然や環境、歴史や文化、社会活動などを有効に活用した体験学習が進められており、併せて礼儀やマナー等の習得を含めたコミュニケーション能力の育成も図られています。

青少年育成の場としてのジュニアキャンプやジュニアリーダー活動、各種青少年体験事業などを通じて、学校間・校種間交流の充実を図りました。今後も各活動が継続され、体験者がさらに増加していくことが望まれます。

図書館では、展示や特集の本棚で資料紹介を工夫しています。引き続き、時代性や地域性を考慮してテーマを選定するとともに、さらに情報発信をする必要があります。

(3) 基本理念 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って行動できる人間をめざして

重点： 身近な視点から環境を考える力をつけよう  
自然環境を汚さない行動力をつけよう  
地球・生命を愛する心を伝えよう

【平成 27 年度の主な取り組み】

<学校教育課>

環境教育

学校給食の牛乳パックを再資源化するために、町内全小・中学校において、児童・生徒自身が解体・洗浄に取り組んでいます。

また、生ごみ処理機「キエーロ」を各学校に設置し、環境教育に活用しています。

自然体験学習

葉山の自然環境や各学校の教育環境を生かし、地域の人材を活用した体験学習を行ないました。

<生涯学習課>

自然体験イベントの開催

「海山に育ち親しむ子どもたち～里山管理体験」、「海山に育ち親しむ子どもたち～稚魚放流・潮干狩り体験」、「葉山自然観察隊」において、子どもたちが、山や海に親しみながら自然の大切さを学びました。

里山管理体験

実施日：4月18日 参加者：小学4～6年生65人 会場：湘南国際村緑地

稚魚放流・潮干狩り体験

実施日：5月23日 参加者：未就学児童3歳～5歳118人・小学校1～3年生182人 会場：森戸海岸

葉山自然観察隊

実施日：6月7日・13日 参加者：小学3・4年生24人 会場：しおさい博物館、芝崎ナチュラルリザーブ

海の学校（ヨット体験）

実施日：8月5日 参加者：小学5・6年生39人 会場：葉山公園・大浜海岸

## 【評価】

日常取り組んでいるごみの分別・減量などとともに、身近な給食の牛乳パック再資源化に児童・生徒が自ら参加することや、家庭科の調理実習等で出た生ごみを「キエーロ」で処理すること、一部学校で導入された給食用生ゴミ処理機により生成された肥料を花壇に活用することなどを通して、環境への意識が高まりました。また、給食から出る総生ごみ量の7割～8割を生ごみ処理機に投入することにより、搬出するごみの量が減りました。

各学校の環境に合わせて、地域の自然環境と人材を生かし、稲作体験や、水辺の環境調査、葉山メダカの飼育、漁業組合や民間の研究所の協力によるアマモなどについての学習などの活動が定着してきました。校内にビオトープを設置している小学校では、新たに整備を行ない、水生生物の観察を通して自然環境について学習しています。今後も「葉山の自然研究会」などにおいて、よりよい教育活動を研究していく予定です。

また、ごみ問題を中心とした学習を通して、子どもたちの環境に対する意識を高めることが必要です。

海の学校（ヨット体験）では、日本ヨット発祥の地である葉山で、ヨット体験をする事で自然の素晴らしさを再確認し、海山に育ち親しむ子どもたちの「里山管理体験」では山の生命、「稚魚放流・潮干狩り体験」では海の生命に触れ、親しみながら自然の重要性を学びました。

また、同世代が多数参加する事で、地域社会での人間関係の希薄化が改善されるなど、青少年の健全な心身を育くむ事に効果的な事業を実施しました。

今後も引き続き、子どもたちが自然の大切さを学べる「葉山町特有の自然」を生かした体験型イベントの更なる充実を目指していく必要があります。

青少年事業「葉山自然観察隊」では、町の文化財である芝崎の磯「ナチュラルリザーブ」に生息する生き物とのふれあいやその観察を通して、自然の豊かさや生き物同士の密接な関わり（生態系）について学ばせ、生き物を愛する心や自然環境を大切に作る心を育てています。今後は、「感謝の念を持てるモラルあふれる人間性の育成」に向け、さらに踏み込んだ取り組みを検討していく必要があります。

#### (4) 基本理念 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

重点： 家庭から地域（葉山）へ、そして世界へ  
社会変化に対応する力を育てよう  
新たな教育にチャレンジしよう

##### 【平成 27 年度の主な取り組み】

###### <学校教育課>

###### 情報教育

今年度は、教員に各 1 台の校務用パソコンを配付し、教材研究や業務の効率化が図られるよう環境整備を行いました。

また、各校においては、児童・生徒に携帯電話の正しい活用法を習得させるため、携帯電話会社や警察等と協力・連携し、情報モラル教育に関する授業を実施しました。

ICT 機器を活用した授業づくりについては、広域で効果的な情報教育を研究している、横須賀市、三浦市、逗子市、葉山町からなる「三浦半島地区教育ネットワーク協議会」の研究会や研修会に参加し、研鑽を深めました。

###### 職場インタビュー・職場体験学習の実施

子どもたちが将来自立した社会人となるため、学校、家庭、地域社会において、勤労や職業に積極的に関わりながら「学ぶこと」や「働くこと」の意義について考えることができるよう、各中学校で職場インタビュー・職場体験学習を実施しました。

###### 小中学校作品展

各学校の教育活動を基にして、その成果発表の場として、小中学校作品展を開催しました。来場者延べ 3,122 人。

###### <生涯学習課>

###### 郷土の歴史・文化の保護

町の貴重な文化遺産である国指定史跡長柄桜山古墳群の恒久的な保護を図るため、整備工事を実施しました。また、町指定文化財の維持管理の向上を促進するため奨励金を交付し、郷土の歴史・文化の保護に努めました。

###### 郷土の歴史・文化の学習

文化財啓発事業として、葉山町文化財研究会の協力により「文化財講座」を実施しました。また、教育委員会が所蔵する民具の学校見学にあたって、葉山

町文化財研究会をガイド団体として紹介したほか、長柄桜山古墳群について職員による出前授業を行いました。

#### 文化財講座

実施日：10月15日・22日・29日・11月5日 参加者：21人 会場：一色小新館ほか

#### 学校授業における文化財活用

##### 古墳の出前授業

実施日：4月27日 参加者：葉山小6年生 会場：葉山小  
所蔵民具見学のガイド紹介（長柄小、上山口小）

### 【評価】

教員に各1台、校務用パソコンを配付することで業務の効率化を図り、教材の活用、教材研究等が推進されるよう教育環境の整備に努めました。同時に、各教員がパソコンの利便性と、その危険性について意識やモラルを高めることが重要となります。したがって、教員一人一人の意識が向上するよう「教育情報ネットワークの利用に関するガイドライン」を改定するとともに、取り扱いに係る運用ルールを別に定め、周知を図りました。

また、ICT機器を活用した授業づくりについては、近隣市町と連携、情報交換を深めることで、効果的な授業づくりについて、研究を深めることができました。今後も近隣市町と連携しながら、時代の変化に対応したICT環境の充実を図るとともに、最新の情報を学校現場へ提供していくことが必要となります。

また、学校では、情報に関わる危機管理意識を高めながら、さらなるICT機器を活用した授業について研究をする必要があります。

近年、携帯電話、スマートフォン等、情報端末を所有する小中学生の増加に伴い、情報モラル教育の重要性が高くなっています。既に、学校では警察や企業等と連携し、児童・生徒、保護者対象の研修会等を実施していますが、今後は、購入時に家庭の中で、携帯電話等の使用に関するルールをつくる等、学校と保護者が連携した対策を推進して行くことが必要です。

職場インタビューや職場体験学習を実施することは、子どもたちが「学ぶこと」や「働くこと」の意義を理解するとともに、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を高め、それぞれが将来直面するであろう様々な課題に柔軟に、かつ、たくましく対応する力を育成しています。この取り組みは、社会人・職業人として自立した人になっていくための一助になっており、「生きる力」を育てるものとして大きく評価することができます。今後は、職場



体験を受け入れる事業所の負担や生徒が実際に体験する際のマナー等については、配慮と指導の充実を図る必要があります。

小中学校作品展は、児童・生徒が他校の作品を見ることで、お互いのよさを認め合うとともに、創作意欲を向上させ、進級・進学への期待感を育てる機会となっています。また、来場者は延べ3,000人を超え、保護者・地域の方々からも教育活動を知る機会として好評でした。今後も継続が望まれます。

- 郷土の歴史・文化を学び、大切に守っていく精神を養うことは、郷土に対する誇りを持ち、自らのアイデンティティを確かなものにするうえで必要です。

国指定史跡長柄桜山古墳群をはじめとする町内の貴重な文化財は、今後も引き続き適切に保護し、次の世代に継承していくことが求められます。こうした観点から、長柄桜山古墳群の整備工事の実施、文化財の維持管理の向上のための奨励金の交付をおこなっております。

また、葉山町文化財研究会など関係団体との連携や学校教育における文化財の活用を通じて、社会全体で文化財をまもり伝えていく意識を醸成する取り組みを継続していくことが望まれます。

## 5 学識経験者による意見

「教育委員会の点検・評価報告書」についての所見（平成 27 年度事業対象）

今井 利典（元葉山町立一色小学校校長）

### 1 教育委員会の活動内容について

#### （1）教育委員会会議の開催状況

平成 27 年度の教育委員会会議は、月 1 回、計 12 回の教育委員会定例会と、3 回の教育委員会臨時会が開催され、又、随時の研修会等の実施も報告されており、適切かつ妥当な回数と考えます。

#### （2）教育委員会会議での審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条及び「葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則」第 2 条の規定に基づき、平成 27 年度は合計 35 件の議案について適切かつ慎重審議が行われ、葉山町の教育に関する実態把握や具体的な成果、及び今日的課題について共通理解を深める会議となっています。更に、教育基本法第 17 条第 2 項に規定する葉山町の教育振興基本計画に位置づける「第二次葉山町教育総合プラン」の策定についての審議により、これからの教育の在り方が協議されていることは高く評価でき、おおいに期待するところです。また議事録については適正に作成・公開されており評価できます。

#### （3）教育委員会会議以外の活動状況

教育委員の教育委員会会議への出席以外の活動として、町議会関係、総合教育会議、校長会議・教頭会議、学校視察・運動会、各種行事等について、156 回の出席及び参加が報告されています。学校・地域等の教育活動の実際を把握する教育委員会会議以外の本活動は、喫緊・短期・中期・長期的課題解決に向けた教育施策を着実に実施していく上で、極めて重要です。重ねて国・県レベルの会議参加による他機関等との連携推進に尽力されている教育委員各位の積極的な姿勢に敬意を表します。

## 2 「教育総合プラン 学びの基本理念」に基づく取組状況 について

### (1) 基本理念 自立した人間をめざして

重点： 家庭教育を充実しよう	特別支援教育を大切にしよう
幼児教育を充実しよう	健康生活を推進しよう
学校教育を充実しよう	学びの場を充実しよう

#### 【平成 27 年度の主な取り組み】

##### <教育総務課>

**新規** 耐震整備事業

**新規** 中学校空調設備設置事業

小中学校管理事業

～ について

安全・安心の観点から、児童・生徒が使用する構造体の耐震化率が100パーセントとなったことに加えて、平成27年度は、上山口小学校及び長柄小学校の屋内運動場天井等非構造部材耐震化工事を行い、町民の避難所となる屋内運動場についても計画的に実施されていることは評価できます。また、空調設備設置は良好な学習環境を提供したいとする格段の配慮が窺え、有り難く思います。今後も、学校の老朽化に伴う補修等、計画的な施設整備をお願いいたします。

##### 中学校給食

社会状況の変化に応じた中学校給食のあり方について、平成26年度より教育委員会と町部局が一体となった「葉山町立中学校給食推進委員会」の検討報告が11月に発表されました。それを受けて「葉山町学校給食基本構想(案)」を教育委員会において検討を開始したことは評価できます。是非、「食育」やアレルギー等の健康管理、小中学校のカリキュラムや教育施設の円滑な運営に十分配慮した検討をお願いいたします。

##### **新規** 第二次葉山町教育総合プラン(素案)の策定

平成17年3月の葉山町教育総合プラン策定委員会からの答申を基に、平成20年5月に策定した「葉山町教育総合プラン」は、〔学びの憲章〕・〔学びの基本理念と教育の重点〕・〔学習を支援するアクション・アイテム〕から構成され

ています。これらは「葉山だからできる豊かな学び」への指針となってきましたが、変化する社会状況や教育環境に的確な対応を可能とする教育施策のより具体的な行動計画として改訂されることは、きわめて意義のあることです。葉山町の教育振興基本計画に位置づけられる「第二次葉山町教育総合プラン」の策定に、おおいに期待しています。

#### **新規 総合教育会議**

平成 27 年 4 月の改正法施行による「総合教育会議」を町長の招集により 5 月と 10 月の 2 回開催しています。教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化等が総合教育会議の設置主旨となっています。葉山町では、これまでも首長と教育委員会は連携・協議を行ってきたと考えられますが、今日の教育課題とその解決策について、一層の共有が図られる有意義な機会となることを切に願っております。

#### **<学校教育課>**

##### **新規 葉山町学びづくり研究推進事業**

児童・生徒一人ひとりに「確かな学力」を身に付けさせることは、教職員の本務であり、その実現には「高い授業力」を持つことが不可欠です。したがって、小中学校教員が校種に関係なく、同一の公開授業等において共通の実践研究を行っている「葉山町学びづくり研究推進事業」は極めて有意義であり、今後も、是非、継続していただきたい。

##### **町費教員の配置**

児童・生徒の学習意欲をより高め、基礎学力の確実な定着を図るためには、習熟度や発達段階に即した教育指導が必要であり、町費教員の派遣はチームティーチング等、各学校の実情に応じたきめ細やかな教育指導の一助となっており、着実に成果を上げていることは高く評価できます。また、小中学校において、算数 - 数学科の連続した教育指導を行うための小・中連携町費教員(2 人)の指導により、特に中学入学後の 4 月～ 6 月期の子どもたちが学習不安を抱かず、安心して授業に臨むことができたとする成果報告は、連続した学びの大切さや、中一ギャップの有効な解消法となることを示唆しています。さらに、他教科も視野に入れた町費教員の派遣拡充を期待したい。

##### **教育相談体制**

平成 27 年度の教育相談件数は、スクールカウンセラーが 322 件、心の教室相談員(中学校のみ)が 238 件、教育研究所の教育相談員が 900 件と報告され

ており、それぞれの役割の中で着実に教育相談実績を積み重ねていることが伺えます。また、これ以外にも「ことばの教室」や「相談教室(ヤシの実)」、子ども育成課や「たんぼぼ教室」、主任児童委員や児童相談所等の関係機関への教育相談もあり、相談者の主訴がますます多様化しています。ことに、発達障がいや家庭環境に由来すると思われる相談が増加しており、これまで以上に福祉や医療機関との密接な連携を迅速に行える教育相談体制の確立に尽力いただければ幸いです。いずれにしても、子どもたちの豊かな人間関係を育成することに直接携わる学校の役割は極めて重要であり、児童・生徒の心の問題に早期に気付け、一丸となって解決することができるよう、教職員研修やケース会議を通して、校内支援体制の充実が図れるようお願いいたします。その為にも、全町的な教育相談の実態把握に努め、改善まで長期的に対処する必要がある事例が多いことや訪問相談の必要性が高まってきていること等から、学校を支援する意味からも、引きこもり児童・生徒に対応するための新たなスクールソーシャルワーカーの確保や、発達に関する専任相談員の増員も含めた教育相談体制の一層の充実が望まれます。

#### 特別支援教育

すべての小・中学校において、特別な配慮を必要とする児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育指導が行えるよう、充実した介助員制度や校内の支援体制の整備は高く評価できます。更に、インクルーシブ教育の理念に基づき、通常級に在籍する発達課題を有する児童・生徒への支援についても、葉山町発達支援システムに基づく「相談支援ファイル」を改定し、支援ツールとして活用する等、学校のニーズに基づく支援体制の質の向上も評価できます。なお今後は、小・中の連続した指導体制に不可欠となるであろう、中学における通級指導制度についても国・県への働きかけも含めた検討をお願いいたします。また、適正な障がい児就学プロセスの保持、教職員の研修等については、教育相談体制の充実や校内通級制度の確立とも相まって、今後も継続していただきたい。

#### 人権教育

豊かな人権感覚は、より良い人間社会を構築するうえで必要不可欠です。小・中学校が人権教育担当者会を中心として、今日的な社会問題をテーマである「子どもの人権侵害」について協議を深めたことは評価できます。また、人権教育の基本姿勢や、学校のいじめへの初期対応といった具体的な内容によって研修を行い、小・中学校の共通した教育実践へと活かしていることも素晴らしいことです。今後とも継続していただきたい。また、学校における研修会への保護者等の参加による人権教育の深化を図り、児童・生徒の実践力の育成を

協働して行うことも検討していただければ幸いです。

#### 防災教育

葉山町学校防災計画を基にした各学校の学校防災マニュアルによる避難訓練や防災教育が着実に実施されています。児童・生徒の安全とともに地域の安全・安心の観点から、今後も引き続き、想定を超えた災害への対応策や減災教育、避難所運営の具体的なシミュレーションにも配慮して取り組み、学校・家庭・地域の連携が一層深められることを期待しています。

#### <生涯学習課・しおさい博物館>

##### 「葉山町民大学」の開催

関東学院大学の協力を得て、興味深いテーマを取り上げ開催されている。受講者も多く、町民の学びの場・生涯学習の場として地域に定着していることは学習機会の充実の点から高く評価できます。今後も、受講者のニーズに応えた企画を入れながら、充実していくことを期待しています。

##### P T A 研修会の開催

各分科会が設定したP T A活動の今日的課題に基づく研修内容を基にして、保護者の主体的な学習の場になっていることは評価できます。今後もP T A活動の充実が図れるように支援を継続してください。

##### 公民館教室の開催

12種の教室に377人の参加者があったと報告されています。町民の学習のきっかけづくりとして高く評価できます。

##### 学校施設等開放による活動拠点の提供

学校施設および図書館附属施設を多くの団体が、活発に利用している様子を窺い知ることができます。学びへの高い意欲や多様な活動を支援する拠点を提供するために、利用マナーの徹底や施設の維持管理に尽力されていることに敬意を表します。今後は自主的な生涯学習をさらに推進するために、一層の町民と協働した施設運営や、活動拠点を増やせるよう、子どもたちの活動を除く利用料も含めた検討を行う必要があると考えられます。

##### 学校体育施設開放による活動拠点の提供

##### 学校プール開放の実施

##### 少年少女スポーツ体験講座の開催

##### 楽しく走ろう！ジョギングinはやまの開催

## 新規 町民体力測定

～ について

町民にスポーツ・レクリエーションを通して、生涯にわたる心身の健康づくりを支援する事業であり、71の利用団体登録や1,039人の学校プール開放利用者、講座等参加者数からも今後も継続していただきたい。また、小・中学生を対象とするスポーツ体験講座の「ゴルフ」「卓球」や「町民体力測定」といった新たな活動を工夫されていることは評価できます。

しおさい公園・博物館の充実

しおさい博物館展示解説及び学習支援

しおさい博物館学芸員等実習

神奈川県立近代美術館葉山館・山口蓬春記念館との合同見学会

サイエンスカフェの開催

～ について

来園・来館者に親しまれ、喜ばれる施設になっていることが、約2万2千人の来園・来館者数に表れていると思います。ホームページやSNSを活用した情報発信の成果もその一助と考えられ、更なる充実を期待しています。また、博物館に関しては、学習・学術研究の場として、収蔵品や展示の充実、他の博物館等との一層の連携、各種実習や小・中学生への学習支援が行われています。これらは大切な博物館機能であることから、より一層の充実を期待し、そのための学芸員または事務等の職員増員が望まれます。一つの案として、近隣美術館等と連携したワークショップ等の共同企画展の実施を検討いただければ幸いです。

## <図書館>

ブックスタート

おはなし会

社会見学・職場体験学習・社会体験研修

資料紹介のパンフレット作成

新規 読書の記録

～ について

保健センターとの連携により毎月第一木曜日に行われた「ブックスタート」への参加が212組あり、乳児と保護者に絵本の紹介を通じた本と親しむ環境づくりへの着実かつ有意義な取り組みとなっており、継続していただきたい。また、毎週水曜日（年45回）に実施された「おはなし会」は、読み聞かせに限らず手遊び等を取り入れ、幼少期においての親子のふれあいを確かなものにする家庭教育の有り様を伝える素晴らしい事業です。是非、継続していただくと

ともに、後継者育成の視点から小・中学生を対象にした「読み聞かせ講座」を検討していただければ幸いです。また、社会見学や職場体験学習等は児童・生徒が、図書館が生涯学習の大切な場であることについての理解を深める上で意義ある活動であり、継続していただきたい。

について

これまでの「絵本パンフレット」に加えて、小学校1年生向け「ひとりでよんでみよう」・小学生向け「図書館からおすすめの本」・一般向け「図書館員からのおすすめ本」を新たに作成したことは、ライフステージに即した読書活動を支援する素晴らしい工夫であり、高く評価します。また、「読書の記録」は、一人ひとりの読書活動に励みを与え、読書意欲の向上につながるきっかけとして素晴らしい取り組みです。全町的な取り組みになることを願っています。

## (2) 基本理念 心豊かに共生できる人間をめざして

重点： 社会性を育てよう 学校間・校種間交流を促進しよう 地域・世代間交流を促進しよう 国際的な視野にたつ人間を育てよう
---

### 【平成27年度の主な取り組み】

#### <学校教育課>

##### 小・中学校の連携について

中学校の生徒会が中心となって長年にわたり継続して実施されている小学校6年生の中学校訪問は「中一ギャップ」の解消の一助となっています。今後も継続していただきたい。また、教育研究所が中心となって小・中連続したカリキュラムに関する研究を進めていることは評価できます。さらに、算数・数学科という教科を限定して実践研究する中で整理された課題を施策に反映されるよう期待しています。今後は、技能教科を中心にした可能な範囲での小学校における中学校教員による授業支援も検討していただけたら幸いです。

##### 「わかる！算数教室」の開催

葉山町教育研究所の主催の小学校6年生を対象にした「わかる！算数教室」は、連携推進の一環として高く評価します。また、小中連携に関する連絡会での研究を生かした例題・問題による学習を実施したことから把握できた指導課題等、実践成果を小・中学校に還流していただければ幸いです。なお、6年生以前の学習補完の必要性や中学校1年前期のフォロー等の必要性も指摘され



ており、開催時期や対象者の増加を見込んだ指導者や財源の確保が必要となっています。

#### 小学校外国語活動・中学校英語教育

小中学校教員の連携した教育研究所における研究会や研修講座及び葉山町教育研究会での実践研究が着実に行われています。平成23年度から必修となった小学校5、6年生での外国語活動は、今後、4年生以下にも実施されていくと思われ、それに伴って中学校英語も、これまで以上にコミュニケーション力を高められるような充実した授業が求められてきます。そこで、『基本理念 教育の重点4』の「国際的な視野にたつ人間を育てよう」に基づき、これまで行われてきた葉山町の英語教育を更に充実していくために、アクティビティ中心の学習活動が行えるよう、ALTや外国語活動サポーターの拡充が望まれます。

#### 地域連携による学習の推進

町内小・中学校において、葉山町の自然や環境・歴史・文化・社会活動等、地域と協同・連携した各校の特色ある学習活動は、学校への理解を深めるとともに、児童・生徒の安全・安心にも繋がるものであり、積極的に行われていることは高く評価したい。

#### <生涯学習課>

##### ジュニアキャンプ

##### 各種青少年体験事業

##### 逗葉地区青少年音楽祭

##### ジュニアリーダー活動

～ について

これらは『基本理念 教育の重点1・2・3』を網羅した活動となっています。ジュニアキャンプやジュニアリーダー活動は、次世代の育成とともに地域・学校種・学年・世代を超えての交流の場として貴重であり、継続していただきたい。また、各種青少年体験事業における体験活動は葉山町だからこそできる素晴らしい内容です。ことに「海山に育ち親しむ子どもたち」が未就学児童から小学校3年生までを参加対象にしたことは、高く評価します。青少年指導員・ヨット関係者・体育指導関係者・音楽指導関係者等々、活動を支援してくださる方々に感謝するとともに、さらに充実する為にも、民間活動団体やNPOへの委託等について検討する必要があると思われま

#### <図書館>

##### 展示及び特集コーナーの資料紹介

エントランスコーナーでの展示や、貸出室本棚での特集資料の紹介は大変工夫されており、高く評価します。毎月のテーマについて、来館者や町民の参画を促すことも一案かと思えます。

### (3) 基本理念 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って行動できる人間をめざして

重点： 身近な視点から環境を考える力をつけよう  
自然環境を汚さない行動力をつけよう  
地球・生命を愛する心を伝えよう

#### 【平成 27 年度の主な取り組み】

##### <学校教育課>

##### 環境教育

各学校において、日常的なごみの分別や牛乳パックの再資源化活動といった実践的な取り組みがなされており、環境への意識を高めています。また、生ごみ処理器「キエーロ」を各学校に設置し、家庭科等の教科と連動したごみの減量化への理解を深めていることは「身近な地域で行動する力」を育成しているものと評価できます。

##### 自然体験学習

葉山メダカの飼育・アマモ再生活動・水辺の環境調査・学校ビオトープの活用・稲作体験といった各学校の環境を生かした特色ある教育が行われ、地域の方々や民間研究機関の協力を得て成果を上げています。これらの直接体験活動を継続していくためにも、財源の支援が望まれます。

##### <生涯学習課>

##### 自然体験イベントの開催

未就学児童～小学校3年生を対象とした「海山に育ち親しむ子どもたち～稚魚放流・潮干狩り体験」と、小学校4～6年生を対象とした「海山に育ち親しむ子どもたち～里山管理体験」は、葉山ならではの自然のつながる営みを体感できる素晴らしい自然体験イベントです。かねてより継続実施されているナチュラルリザーブでの「葉山自然観察隊」や「海の学校(ヨット体験)」とも相まって、体験を通して「身近な視点から環境を考える力」「自然環境を汚さない行動力」そして「葉山を愛する心」の育成に即応した事業として高

く評価します。更に充実することを期待しています。

#### (4) 基本理念 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

重点： 家庭から地域（葉山）へ、そして世界へ  
社会変化に対応する力を育てよう  
新たな教育にチャレンジしよう

#### 【平成 27 年度の主な取り組み】

##### <学校教育課>

##### 情報教育

小中学校において、教員が各自一台の校務用パソコンを使用することができるようになったことは、業務の効率化や情報管理能力の向上とともに、デジタル教材の開発・デジタル教科書を使った授業の実践研究も深まるものと期待されます。それに伴い、「教育情報ネットワークの利用に関するガイドライン」の改定とともに運用ルールを周知徹底したことは評価できます。また、教室等でも情報端末を活用してスムーズに授業が行えるよう、ワイヤレス環境の整備が必要となりますので、「学びのイノベーション事業」に関する文部科学省等の補助制度にも留意していただければ幸いです。

昨今の SNS の急激な普及に応じた情報モラル教育に関する授業が外部機関と協力し行われていることは評価できます。是非、継続していただきたい。

児童・生徒の情報リテラシー能力の育成やアクティブ・ラーニングにおける情報機器の活用研究を進める上で、葉山町・横須賀市・三浦市・逗子市からなる「三浦半島地区教育ネットワーク協議会」等の教育研究・研修は、適正規模の広域連携型事業であり、情報教育機器等の整備充実と併せて継続すべきと考えます。

##### 職場インタビュー・職場体験学習の実施

自立した社会人に成長するための契機として、中学生の職場インタビュー・職場体験学習がこれまで同様に継続実施されていることは高く評価できます。受け入れてくださる方々やコーディネートする教員の尽力によって、生徒の社会認識を深め、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を育成する絶好の機会となっています。生徒一人ひとりがこの学習の意義を理解し、社会的ルールやマナーも、これまで以上に感謝の気持ちとともに身に付けていけることを期待しております。

### 小中学校作品展

3,000 人を超える来場者ということから、学校間の交流、家族・地域の交流の場になっており、また、児童・生徒が、お互いを認めあうことによって一人ひとりの自己肯定感を高めることのできる発表の場としても、高く評価します。なお、継続実施にあたり、アルバイト等による会場設営・作品管理等の人員確保も必要となっています。

### <生涯学習課>

郷土の歴史・文化の保護

郷土の歴史・文化の学習

について

葉山町『学びの憲章』にある「葉山を愛し、世界を拓こう」を実現するためには、郷土の歴史や文化を理解することが不可欠です。そこで、葉山町文化財研究会との連携や、学芸員等による見学会や出前授業といった学校の授業支援を通じた啓発活動は大切であり、継続していただきたい。また、国指定史跡長柄桜山古墳群を初めとする文化財・文化を取り上げた保護・啓発事業が実施されていることは、次の世代に継承していく上でも重要であり、評価できます。

## 3 『報告書』を読んだの所感

社会の中で一人ひとりが幸福に生きていくことをめざす葉山の学習社会を実現するために策定された「葉山町教育総合プラン」に基づき、多岐にわたる事業が新たな工夫を加えつつ、着実に実施されています。しかしながら、「第一次葉山町教育総合プラン」は学びについての普遍的な理念や学習の方向性に重きを置いて策定されたものであり、その趣旨を活かした教育施策の行動計画を補完することが求められていました。この度、刻々と変化している社会状況や複雑に多様化する社会課題を踏まえつつ、「第二次葉山町教育総合プラン」によって、教育施策を明確なものとして再構築することは極めて意義深いことであり、その成果に大きな期待を寄せるとともに、第一次策定に携わった一員として大変嬉しく思うとともに、ご尽力に深く感謝申し上げます。また、教育委員会定例会等の会議録を拝察するに、学校教育を中心として、これまでに蓄積されてきた成果を礎にした“より質の高い教育の姿”に係る協議が真摯に行われており、敬意を表します。なお、町民の社会教育に関する期待感も高いものが有ると考えられ、社会教育の充実についても、「第二次葉山町教育総合プラン」の策定等によって、これまで以上にご協議いただければ幸いです。

また、未来を担う子どもたちが豊かな人間性を育むためには、良好な人間関係の中で、発達段階に応じた「自らを律する力」や「自ら考える力」を持つこ

とが不可欠です。そこで、家庭・地域・学校等が連携をより深めることはもとより、生涯学習課が主管するジュニアリーダー活動を始めとする様々な異年齢集団活動の場は、実践力を高める上で、とても大切であり、これらの事業の人的措置を含めた充実に期待しています。

平成 25 年度から 26 年度にかけて葉山町全体の小中学校が合同で行った「かながわ学びづくり研究推進事業」の成果を踏まえ、「葉山町学びづくり研究推進事業」として実践研究が継続されたことは、児童・生徒の“連続した学び”を確かなものにする上で、素晴らしいことだと思います。更に、学習評価の連携について研究を進め、一貫した学習指導が深まることを期待しています。また、厳しい財政状況下においても、町費教員・ALTや介助員等の派遣により、各学校の実情に応じた支援がなされていることに敬意を表します。尚、若手教員の授業力向上に資するための「教育指導アドバイザー」や、「小・中一貫コーディネーター」といった支援制度についても検討していただけると幸いです。

多様化する今日的な教育上の諸課題に対応できる研究・研修は、これまで以上に必要となっており、教育研究所研修指導主事の増員が望まれます。

子どもたちの心に生じた悩みは、早期に解決することが重要です。そこで、学校においては教職員が、家庭においては保護者が、いち早く予兆を察知し、関係者が協力して解決の手助けを行う必要があります。その為には、学校では教職員の「子どもたち一人ひとりと向きあえる時間の確保やカウンセリングに関する研修の充実」及び「相談内容をチームで解決にあたる校内支援体制の充実」が、また、児童・生徒・保護者には「いつでも相談できる教育相談体制の確立」が、これまで以上に求められます。近年、より専門的な知見を要する発達に関する教育相談が増加しており、乳幼児期から児童期・青年期へと連続したきめ細やかな発達課題への対応が、益々必要になっています。そこで、例えば、『たんぽぽきょうしつ』への専任相談員の配置や、中学校に通級指導教室を設置する等の方策が考えられます。今後の施策に反映していただければ幸いです。

“美しい海とみどりに笑顔あふれる ころろ温かな ふるさと 葉山”を、まちの将来像とする「第四次葉山町総合計画」が平成 27 年 3 月に策定されました。その基本理念のひとつとして「まちの将来を担う子どもたちの育ち・学びが地域ぐるみで支えられるとともに、だれもが生涯にわたり学び合い、活躍できて、交流できる“人を育てる”葉山をめざす」ことが掲げられています。この様に、教育の役割を十分理解し、重要な町づくりの柱に据えていることは、心強い限りです。これからも、町民の教育に対する期待感に十分応えられる 葉山だからできる フェイス・トゥ・フェイスの 生涯学習社会 が推進されますよう、切に願っております。

## 「教育委員会の点検・評価報告書」についての所見（平成 27 年度事業対象）

河村 英二（元葉山町立葉山小学校校長）

（はじめに）

“美しい海とみどりに 笑顔あふれる ころろ温かな ふるさと 葉山”に相応しく多岐に渡って様々な事業を展開されてきた葉山町教育委員会の活動に深く敬意を表します。そして、葉山町民が人間的に豊かで幸福に生きていくためには、一人ひとりが「生涯にわたって学習し続ける意欲」とそれに応える行政の「学習・教育環境の充実」が必要不可欠であるという葉山町教育委員会の理念に大いに賛同する次第です。

この度、平成 27 年度事業を対象とした葉山町教育委員会の点検・評価にあたり、教育委員会の活動内容と「葉山町教育総合プラン」の学びの基本理念に基づく取組状況に対する意見を、町内の小・中学校に勤務した教員の立場から述べさせていただきます。

### 1 教育委員会の活動内容について

教育委員会会議の開催状況と審議状況は、定例会・臨時会共に妥当であると考えます。

しかし、会議以外の活動状況をみると、平成 25 年度は合計で 126 回、平成 26 年度は 143 回、そして平成 27 年度は 156 回の出席及び参加となっております。とりわけここ数年、各種行事・大会・会議等への出席増加が目立ち、他の業務への影響が無いが憂慮されるところであります。もし、このまま増加傾向が続くようであれば、各種行事・大会への出席については、基準を設けることも検討すべき段階ではないでしょうか。

### 2 「教育総合プラン 学びの基本理念」に基づく取組状況について

#### （1）基本理念 自立した人間をめざして

重点：	家庭教育を充実しよう	特別支援教育を大切にしよう
	幼児教育を充実しよう	健康生活を推進しよう
	学校教育を充実しよう	学びの場を充実しよう

## 【平成 27 年度の主な取り組み】

### <教育総務課>

#### **新規 耐震整備事業**

耐震整備事業は、他の市町村に先駆けて葉山町が以前から取り組んできたことであり、町内の公立学校施設の耐震化率 100%達成は高く評価できます。今後は、学校の老朽化に伴う改修・補修等を計画的に進めて頂きたいと思います。

また、災害時の電源を考え、校舎や体育館の屋上や屋根に太陽光パネルの設置を推進して頂きたいと思います。

#### **新規 中学校空調設備設置事業**

小学校に続き、中学校 2 校の特別教室及びその他の教室に空調設備が設置されたことは学習環境の改善という面から評価できます。また、平成 25 年度 26 年度で小・中学校の全普通教室に空調設備が設置され、「日々の学習環境が大幅に改善された。」という児童・生徒、保護者、教職員の声を聴いております。この事業を高く評価したいと思います。

#### **小中学校管理事業**

各小・中学校のグラウンドは改修した後でも、適切な維持管理が必要です。町内の各小・中学校のグラウンドは、児童・生徒の学習や学校行事で使用される場合だけでなく、社会体育での使用や防災訓練等葉山町主催の各種行事でも使用されています。葉山町内の他施設の状況から、学校グラウンドの多目的利用は当然ですので、学校だけに任せるのではなく、適切な維持管理ができるように葉山町教育委員会としての積極的な対応をお願い致します。

#### **中学校給食**

平成 27 年度より葉山町学校給食基本構想（案）の策定に着手し、給食センター化について、保護者・教職員及び上山口周辺地域住民向けの説明会（全 13 回）が行われた事を評価しています。

今後も、中学校における完全給食と小学校給食施設の老朽化対策を一体的に進めるということは理解しつつも、予算確保と用地決定に向けて、学校関係者や地域住民と十分な共通理解を図って頂きたいと思います。

#### **新規 第二次葉山町教育総合プラン（素案）の策定**

様々な教育施策を推進するとき、指針となるのが葉山町教育総合プランになるかと思っています。現在の葉山町総合プランが策定されてから 10 年以上が経過しております。10 年先 20 年先の教育を見据えて、第二次葉山町教育総合プランの検討を引き続きお願い致します。

## 新規 総合教育会議

平成 27 年度より葉山町「総合教育会議」がスタートしていますが、その役割について、町民及び学校関係者に分かりやすく説明していく必要があると考えます。

### <学校教育課>

#### 新規 葉山町学びづくり研究推進事業

平成 25～26 年度の 2 年間「かながわ学びづくり研究推進委託事業」を受託し、町内の小・中学校が一体となって確かな学力向上に向けた取り組みを推進したことに対して、高く評価致します。町内の教職員が、小・中 9 年間を見据え、葉山の子ども達の学力向上ため公開授業を含め一致した取組を進めたということは、これまでに無いことであり、成果と課題を踏まえて更に取組を継続して頂きたいと思えます。

一方、学力向上は家庭学習の習慣化と密接な関係があります。秋田県では、「毎日、家で学校の復習をしていますか。」という質問に対して実に 90% 以上の児童がしていると肯定的に答えています。また、三世代、四世代の同居率も高く、父母に代わって祖父母が家庭学習をみているという報告もあります。家庭学習の習慣化については、学校だけでなく葉山町教育委員会による家庭への働きかけも有効かと思えます。

文部科学省は次期学習指導要領の改訂に合わせて、アクティブ・ラーニングを強く推進しています。一つの例として、結論あるいは判断とその根拠や証拠をセットにして子ども達に表現させるような学習が意図的に設けられていくような授業が重要です。義務教育における思考力・判断力・表現力の育成が重視された各学校の授業と今回の「学びづくり」が繋がるような事業推進をお願い致します。

しかし、教育の成果は早急に現れるものばかりではありません。葉山町教育委員会は「学力とは何か、学力向上に向けて」という基本方針を示しながら、各学校がその特色を生かし、主体的に取り組めるように対応して頂きたいと思えます。

#### 町費教員の配置

町費教員の配置により各学校における細やかな指導が定着し、児童・生徒の学力向上が図られております。事業としては、今後もぜひ継続して頂きたいと思えます。更に、時間数の増加や人員確保のための待遇改善に努めて頂きたいと思えます。



## 教育相談体制

「不登校」の人数、「いじめ」の報告件数については増減あるものの、教育相談体制が有効な手段の一つであることに間違いありません。葉山町教育研究所相談員、各校のスクールカウンセラー、心の教室相談員、そして、ことばの教室担当者の努力が察せられます。

平成 27 年度の相談件数をみると、スクールカウンセラー、心の教室相談員の相談件数が大幅に減っていますが、実際はどうなっているのでしょうか。相談者が他機関で相談するようになったというならば、身近なところでの相談体制の充実を図って頂きたいです。

また、中学校に比較して小学校の教育相談体制は、まだまだ不十分であるといえます。小学校でも週一日はスクールカウンセラーが来校できるような相談体制の充実をお願いしたいです。

## 10 特別支援教育

文部科学省や神奈川県は、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育を推進しています。従来から葉山町では「共に学び、共に育つ」という考えのもと、校内の支援体制の整備や各校に介助員を派遣するなど、障害児が通常級で生活を共にし、積極的に授業に参加できるような体制づくりを行ってきました。その結果、多くの児童・生徒、保護者から葉山町の支援教育が評価され、信頼を得ることができました。その成果を大切にして、今後も支援体制の継続をお願い致します。

また、葉山町では教育と福祉の連携という取り組みを進め、就学前から義務教育終了後も相談に応じる等、長期間に渡って子どもの成長を見守り、手厚いサポート体制を組んできました。平成 22 年度から始まった葉山町発達支援システムは、現在も障害を抱えている児童・生徒、保護者の心強い支えとなっております。今後も、このシステムを継続、発展させてほしいと思っています。

## 11 人権教育

児童・生徒が人権に対する理解を深めることは極めて重要なことあります。各小・中学校は人権担当者を中心に継続して取り組んで頂きたいと思います。

## 12 防災教育

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災を教訓に、各学校は防災マニュアルの見直しを行い、様々な場合を想定しながら訓練を行ってきました。今後も防災教育を推進して頂くと同時に、これからも各学校が防災拠点である避難所として指定されるのなら、施設・設備の充実、地域との連携が重要になって

くると思います。

<生涯学習課・しおさい博物館>

13 「葉山町民大学」の開催(全5回)

生涯学習に対する町民の要望がありますので、これからも継続して頂きたいと思います。

14 P T A 研修会の開催

P T A 活動推進のために葉山町 P T A 連合会が中心となり取り組んできたことを評価し、今後もこの研修を継続・発展させてほしいと思います。

15 公民館教室の開催

全教室合計参加者 377 人という状況から町民の強い要望が感じられます。今後も継続して頂きたいと思います。

16 学校施設等開放による活動拠点の提供

17 学校体育施設開放による活動拠点の提供

18 学校プール開放の実施

~ について

学校の施設・設備を開放し、町内の児童・生徒及び町民が有効利用できるように、積極的に対応して頂きたいと思います。また、開放と合わせて施設・設備の充実も図って頂きたいと思います。

19 少年少女スポーツ体験講座の開催

20 楽しく走ろう！ジョギング in はやまの開催

21 **新規** 町民体力測定

~ について

多くの児童・生徒、そして町民にとってスポーツに親しむ機会は重要です。今後も内容を検討しながら継続して頂きたいと思います。

22 しおさい公園・博物館の充実

年間の入場者数が2万2千人を超えたという実績は驚くべき数字であり関係者の努力を高く評価したいと思います。

23 しおさい博物館展示解説及び学習支援

24 しおさい博物館学芸員等実習

25 神奈川県立近代美術館葉山館・山口蓬春記念館との合同見学会

## 26 サイエンスカフェの開催

～ について

しおさい博物館が中心となった学習支援や企画は葉山ならではの活動であり、県立近代美術館・山口蓬春記念館との合同見学会も継続して頂きたいと思っております。

### <図書館>

#### 27 ブックスタート

#### 28 おはなし会

#### 29 社会見学・職場体験学習・社会体験研修

#### 30 資料紹介のパンフレット作成

#### 31 **新規** 読書の記録

～ について

図書館での様々な取組を高く評価致します。乳幼児から高齢者まで、町民の要望に応えた生涯学習の場を更に充実・発展させて頂きたいと思っております。

## ( 2 ) 基本理念 心豊かに共生できる人間をめざして

重点： 社会性を育てよう  
学校間・校種間交流を促進しよう  
地域・世代間交流を促進しよう  
国際的な視野にたつ人間を育てよう

### 【平成 27 年度の主な取り組み】

#### <学校教育課>

##### 小・中学校の連携

葉山町では 20 年以上も前から小・中学校の教員が連携し、進学を控えた 6 年生の中学校訪問活動を実施してきました。内容は各中学校の生徒会担当者と小学校 6 学年の担任が検討をしながら積み重ねてきたものであり、生徒会役員による学校紹介や部活動の見学・体験等を行っています。このような活動は、目的である小学生の中学校進学への不安解消に役立つものになりました。更に、継続して実施していく中で、中学生自身が自分自身の学校生活を見直すきっかけとなり、小・中学生にとってお互いに意義あるものとなっています。今後も、小・中連携の原点としての 6 年生による中学校訪問活動を継続し、意義あるものにしてほしいと願っております。

「わかる！算数教室」の開催

「わかる！算数教室」の実施を高く評価致します。現在、このような講座の必要性と有効性を強く感じているところです。いわゆる「家庭の経済状況」と「学力」には相関関係があるといわれています。実際、葉山町内でも生活苦を訴える家庭が増えてきて、就学援助を受ける児童・生徒の割合が増加しているのが現状です。

今後は、小・中連携の範囲を広げ、放課後や休日に学習支援を受けたいのに受けられない児童・生徒を対象にした、「無料塾」のような講座が開催できるように検討をお願い致します。

更に、葉山町には外国に繋がりのある児童・生徒が数多くいます。生活・文化に対する理解と学習の支援を進めて頂きたいと思います。

小学校外国語活動・中学校英語教育

小学校外国語活動でのより良い授業づくりに向け、研修講座の実施や授業研究の推進等、積極的な取組を評価致します。さらに、将来の教育動向を見据えて、小学校英語科専科教員の検討を進めて頂きたいと思います。

地域連携による学習の推進

葉山町の自然や環境、歴史や文化を知る絶好の機会なので、ぜひ継続して頂きたいと思います。

<生涯学習課>

ジュニアキャンプ

各種青少年体験事業

逗葉地区青少年音楽祭

ジュニアリーダー活動

～ について

青少年育成の場として各種体験活動は大変有意義であり、関係者の努力を評価するとともに、今後も継続して頂きたいと思います。

(3) 基本理念 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って行動できる人間をめざして

重点： 身近な視点から環境を考える力をつけよう 自然環境を汚さない行動力をつけよう 地球・生命を愛する心を伝えよう
---

## 【平成 27 年度の主な取り組み】

### <学校教育課>

#### 環境教育

環境教育については現在の取組を当面維持するとともに、町全体としてのゴミ処理を今後どのようにしていくのか、その方向性を踏まえて各学校が具体的に検討していく必要があると思います。ゴミの量を減らし、肥料として活用できる給食用生ゴミ処理機を全小学校に導入して頂きたいと思います。

一部の学校に設置されている体育館の太陽光パネルは環境教育推進の立場からも評価できると思います。

#### 自然体験学習

各小学校では総合的な学習の時間を中心に、地域の自然環境と人材を生かして、米作り、環境調査、葉山メダカの飼育、アマモの生育等の学習を行っています。葉山の地域の特性を活用したこのような学習をぜひ継続して頂きたいと思っています。

しかし、地域の人材に頼っているところがありますので、今後のことを考えると、教育委員会として何らかのサポートが必要な段階であると思っています。

### <生涯学習課>

#### 自然体験イベントの開催

「里山管理体験」「稚魚放流・潮干狩り体験」「葉山自然観察隊」等、各種自然体験イベントは、葉山町の特色を生かした貴重なものとなっております。葉山の自然に親しみ、子ども達にとって良い思い出となる事業ですので、継続して頂きたいと思います。

## (4) 基本理念 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

重点： 家庭から地域（葉山）へ、そして世界へ 社会変化に対応する力を育てよう 新たな教育にチャレンジしよう
---

## 【平成 27 年度の主な取り組み】

### <学校教育課>

#### 情報教育

厳しい財政事情にも関わらず、校務用 PC を教員一人に各 1 台配付できたことを高く評価します。PC については従来から強い要望があり、業務の改

善・効率化に向けた取組が今後期待できます。合わせて、個人情報管理の徹底化をお願い致します。

ICT機器を使った授業については徐々に実践が広がっていますが、現在情報ツールとしての携帯電話やPC等の改良に学校が追いついていないという現状があります。次期学習指導要領の改訂に合わせて、PCやタブレット等の最新機器を導入するなど、情報教育の環境づくりと授業づくりを推進して頂きたいと思います。

#### 職場インタビュー・職場体験学習の実施

キャリア教育の推進という面から、継続して頂きたいと思います。

#### 小中学校作品展

来場者数が延べ3,122人であり、児童・生徒、保護者、学校関係者で定着している小・中作品展を今後も継続してほしいと思います。

#### <生涯学習課>

郷土の歴史・文化の保護

郷土の歴史・文化の学習

～ について

郷土の歴史、文化を学ぶ機会として、長柄桜山古墳群をはじめとする文化財の学習を積極的に進めて頂きたいと思います。

### 3 『報告書』を読んだの所感

子どもを取り巻く状況を見ると、「いじめ」「不登校」「暴力問題」「規範意識の低下や社会性等の課題」「児童虐待の増加」「貧困問題の深刻化」等様々な問題が挙げられます。このような学校や子ども達の抱える課題を解決し、子ども達の豊かな成長を促すためには、学校だけではなく地域関係者との連携が必要です。

現在、町内の小・中学校の中には、「教育懇話会」という組織を位置付けている学校があります。そこでは、学校長による学校教育目標・運営方針が示され、地域住民からは学校運営に関する意見が出されたり、学校や地域の情報が共有されたりしています。

今後は、その組織を拡大・発展させて、葉山町全体として「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」の指定を考えたらどうでしょうか。そのことによって、子ども達にとっては、学びや体験活動が更に充実します。地域の

担い手としての自覚も高まるでしょう。教職員にとっては、地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現します。保護者にとっては、学校や地域に対する理解が深まります。葉山町という地域の中で子ども達が育てられている安心感があります。地域の人々にとっては、学校を中心としたネットワークが形成され、防犯・防災体制等の構築ができます。「コミュニティ・スクール」は任命された保護者や地域住民の方々が一定の権限を持って、学校運営に参画する「地域とともにある学校」の仕組みです。子ども達の課題解決のため、指定の検討をお願い致します。

葉山町はまとまりのある適度の規模であり、葉山町の規模を生かした教育政策が実施されるべきだと思っています。

葉山町教育委員会委員（平成 28 年 3 月 31 日現在）

職 名	氏 名
委 員 長	鈴 木 伸 久
委員長職務代理者	山 崎 勝 美
委 員	遠 藤 麻 衣 子
委 員	小 峰 み ち 子
教育長	尊 町 和 久

平成 28 年度教育委員会の点検・評価報告書（平成 27 年度事業対象）

発行者 葉山町教育委員会教育部教育総務課

〒240 - 0112

神奈川県三浦郡葉山町堀内 2,050 番地の 9

電 話 046 ( 877 ) 5100 ( 直通 )

F A X 046 ( 876 ) 1861

E メール : kyouikusoumu@town.hayama.lg.jp